

研究ノート

# 体操競技男子 2025-2028 年版採点規則の概要と 演技構成上の指標

——D スコアの得点算出に関与する変更点に着目して——

高 橋 孝 徳

東京国際大学論叢 人間科学・複合領域研究 第10号 抜刷  
2025 年（令和 7 年）3 月 20 日

研究ノート

体操競技男子 2025-2028 年版採点規則の概要と  
演技構成上の指標  
——D スコアの得点算出に關与する変更点に着目して——

高 橋 孝 徳

**Men's Artistic Gymnastics 2025–2028 Rule  
Summary and Performance Benchmarks  
—Focusing on Changes Related  
to the Calculation of D Score—**

TAKAHASHI, Takanori

Abstract

The rules for men's gymnastics to be used at the 2028 Los Angeles Olympic Games came into effect in January of 2025.

The most notable changes at this time pertain to calculating the D score, with two major modifications in effect. The first is a reduction in the number of skills eligible for credit in the D score from 10 to 8, and the second is a change in the way element group values are awarded.

These major changes necessitate a careful review of existing routine construction as evaluated under the new rules.

In this study, we use the new rules to calculate D scores for the performances of athletes who advanced to apparatus finals in the Paris Olympics and explore major issues, as well as strategies for optimal routine construction under the new rules.

## 目 次

はじめに

1. 2025年版採点規則の概要と主な変更点
2. 2022年版採点規則による演技構成との比較, および演技構成上の指標
3. まとめ

## は じ め に

2028年オリンピック・ロサンゼルス大会にて適用される男子体操競技採点規則「MAG Code of Points 2025-2028」(以下2025年版採点規則と記す)が国際体操連盟(*Fédération Internationale de Gymnastique*:以下FIGと記す)により発行され, 2025年1月より施行された。これまでは, 英語版以外にフランス語, ドイツ語, スペイン語, ロシア語と複数の言語による採点規則が作成されていたが, 今回は英語のみでの作成となった。

採点規則の適用期間は通例, オリンピック開催年を区切りとした4年のサイクルであり, オリンピックの翌年1月から新ルールが適用され, 次回のオリンピック開催年まで運用となる。

2022年版採点規則と対比すると, 2025年版採点規則で最も注視すべきは, Dスコア算出での必要技数数が10技から8技に減少となった点である。この変更は1993年版採点規則から続いた10技による演技の構成要求数を変えることとなった。毎回, ルールは多寡にかかわらず改定されてきたが, 今回の変更は2006年の10点満点廃止(オープンスコア導入)以来の大きな変更であると言える。

今回のルール改定は大幅な変更を伴うことから, 選手はどのような演技構成が適切なのか, Dスコアを構成する策とEスコアを高めることの両方を検討するためにも新ルールの概要をいち早く把握し, その方向性に対応させた演技構成を検討する必要がある。

そこで, 本稿では, 演技構成を構築する上で重要となるDスコアの得点算出に関与する変更点に着目し, その方向性を抽出するため, オリンピック・パリ大会種目別決勝進出者の演技を対象に, 2025年版採点規則を適用して採点を行い, Dスコアがどのように変動するかを探ることとした。これにより, 新しい演技構成を構築する上での指標を明らかとし, 2028年オリンピック・ロサンゼルス大会に向けてのトレーニング戦略の方向性を決定するための一助となることを目的とする。

## 1. 2025年版採点規則の概要と主な変更点

### 1.1 一般条項

2025年版採点規則一般条項における主な変更は以下の項目に整理される。

- ① Dスコア算出に求める構成要求数の変更
- ② Dスコア算出に求める技のグループの価値点の変更
- ③ Dスコア算出に求める終末技のグループの価値点の加算方法
- ④ Dスコア算出に求める技のグループ数の制限の変更
- ⑤ J難度の追加

- ⑥ 終末技での安定した着地に対しての加点の設定
- ⑦ 演技前ワンタッチウォーミングアップの時間の統一
- ⑧ 短い演技に対しての対応
- ⑨ 減点項目の変更

上記で整理された9つの項目のうち、①から⑤はDスコア算出に関わる変更点である。

#### ①「Dスコア算出に求める構成要求数の変更」

今回のルール改定でもっとも注目される変更点である。1993年版採点規則以降、跳馬を除く5種目において10技を得点算出に求めるのが常であった。FIGは変更理由として、選手の身体への負担軽減、ケガの発生の抑制をあげている。

FIGは2025年版へのルール改定にむけ2022年世界選手権リバプール大会において、審判員・コーチ・選手を召集し、現行ルールについての意見を収集するとともに、新ルールについての素案として、要求数の変更を発表した。この理由として上述した通り、選手の身体への負担軽減、ケガの発生の抑制を述べている。

各国より様々な意見が述べられた中、日本チームの意見を求められ、以下の3点を伝えた。

- ・選手の負担軽減、ケガの発生の抑制を求めることは大いに賛成である
- ・技数の削減をすることが、この目的を達成できるのかは慎重に調査をすべき
- ・技数を減らすことにより、演技構成のモノトニー化に拍車がかかる

その後FIGからは2024年4月にドラフト版が発表され、結果、要求数は8技にすることとされた。

#### ②「Dスコア算出に求める技のグループの価値点の変更」

2006年版採点規則から技のグループに属する技がDスコア（当時はAスコア）に含まれている場合、終末技を除き難度価値の難易度に関わらず0.5を加算する方式であった。これが、2025年版採点規則ではグループⅡとⅢにおいてC難度以下の場合0.3、D難度以上は0.5とした。なお、グループⅠは、今まで通り難度の価値に関係なく0.5を与えることとなっている。

グループⅠを今までと同様にした理由として、難度表の技の配置において難度の低い技の比率が高いこと、ジュニア選手や初級レベルの選手にはグループⅠのD以上の実施が難しい点が考慮されたと考えられる。なお、この規則のために平行棒ではグループのⅠとⅡが入れ替えとなる措置が取られた。

#### ③「Dスコア算出に求める終末技のグループの価値点の加算方法」

2022年世界選手権での意見交換の場でも提案されていた一案である。また、それ以前からも国内外問わず、提言されていた方策である。

実施された技の難度価値点と同等の価値をグループ点として与えることとなった。仮にD難度であれば終末技のグループ点は0.4、G難度であれば0.7となる。

ただし、ゆかは2022年版までと同様の扱い方となり、あん馬、つり輪、平行棒、鉄棒とは異なるため、審判員がゆかに配置された場合は混乱が生じないように注意が必要である。

#### ④「Dスコア算出に求める技のグループ数の制限の変更」

2022年版では5技まで認められていたが、2025年版では4技までとなった。これは①の構成要求数が8技になったことによる影響であると考えられる。今まで同様に5技まで認めた場合、終末技を除くと7技のうち5技が同一グループになる可能性がある。これは演技構成が一つのグループに偏る懸念があり、妥当な改定だと言えるだろう。なお、技のグループ数の採用数は2006年版から2013年版までは4技、技のグループの分類が5から4つに変更された2017年版からは5つとなり、

その意図は違えど、以前の採用数に戻ったことになる。

#### ⑤「J難度の追加」

今回、ゆかで2技がJ難度として難度表に追加された。1985年版でD難度が追加、その後、段階的に高難度枠が追加されてきたが、今回の措置で難度分類の価値が10段階となった。

#### ⑥「終末技での安定した着地に対する加点の設定」

あん馬を除いて、C難度以上の終末技（跳馬は宙返りを伴う技）で着地を止めた場合、D審判によって0.10の加点が与えられることとなった（以下スティックボーナスと記す）。

アメリカでは以前より“スティックボーナス”が採用され、着地止めを重要視してきた歴史があるが、今回FIGでも取り入れられることとなった。この加点はDスコアに組み込まれるため、終末技の安定性が得点を向上させる有効な手段の一つとなる。

着地で僅かに動き0.1の減点がされた場合と、着地を止めて0.1の加点をされることで、実質0.2の差が生まれることとなる。選手は技の選択と同時に、安定した出来栄を習得することがより重要となってくるであろう。

加えて、体操競技の魅力として、終末技での安定した着地は観客を魅了し、体操の価値を引き上げる有用な効果があり、選手のモチベーションを高めることにもつながる。この取り組みは、体操競技の盛り上がりを促進させる有効な手段であると考えられる。

一方、着地が安定したか否かの難しい判断が求められる捌きの場合、その決断をD審判に委ねられるため、新たな負担と責任が伴ってくるであろう。

#### ⑦「演技前ワンタッチウォーミングアップの時間の統一」

2022年版採点規則までは平行棒のみ50秒が与えられていたが、すべての種目で1人50秒と統一された。これにより1組6名構成の場合、今までよりも合計で2分長くなることになった。一般的に競技会での運営において、ゆかと平行棒の組が演技を終了するまで時間を要することが多く見られる。アップ時間の延長と要求技数の減少による演技時間の短縮とで競技会全体に要する時間が相殺されるかは、これからの状況を注意深く見ていく必要がある。なお、ルールが改定され、適用一年目の競技会では得点算出の時間が長くなる可能性があるため、それを想定した対応が求められる。

#### ⑧「短い演技に対する対応」

構成要求数が減少したことにより、求められる最低限の技数の設定も変更された。2025年版では8技から6技までは減点（ニュートラルディグクシオン：ND）の対象とはならず、5技目から3.0の減点が科せられることとなった（表1）。

初心者から中堅選手までは以前も同様であったが、Dスコアを高めるだけでなく、Eスコアで減点されないようにすることも考慮した場合、無作為に技数を満たすのではなく、安定した技捌きで1技もしくは2技減らした演技を構成することも一案であろう。

#### ⑨「減点項目の変更」

一般条項のE審判による評価に記載ある欠点とその対処のひとつ、力静止技における角度逸脱減点の角度設定の変更がされた（表2）。

静止技の逸脱が15°以内であれば減点は無しとなる設定としたが、体操競技が技の出来栄を競

表1 短い演技に対する減点一覧

| 技数（要求数） | 8 | 7 | 6 | 5   | 4   | 3   | 2   | 1   | 0    |
|---------|---|---|---|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 減点(ND)  | 0 | 0 | 0 | 3.0 | 4.0 | 5.0 | 6.0 | 7.0 | 10.0 |

表 2 力静止技における角度逸脱減点

| 2022 年版   |            | 2025 年版   |            |
|-----------|------------|-----------|------------|
| 角度        | 減点         | 角度        | 減点         |
| 15°       | 0.10       | 0° ～15°   | 減点なし       |
| >15° ～30° | 0.30       | >15° ～20° | 0.10       |
| >30° ～45° | 0.50       | >20° ～45° | 0.30       |
| 45° を超える  | 0.50 (不認定) | 45° を超える  | 0.50 (不認定) |

うという原点から察すると、15° 以内であっても出来栄への良し悪しを見極め、評価をする必要があり、機械的に角度の減点だけに焦点を当てた採点にならないように望みたい。

今回、減点の角度数値に20°となる数値が出現した。15°はアナログ時計で長針5分が30°と捉えられ、その半分という認識で対応することができていたが、20°は男子体操競技では採用されていなかった角度のため、適切に判定することに少々時間を要するのではないだろうか。審判員による自己研鑽も含め、適切に対応できるよう方策が必要であろう。

これら9つの項目に加え、種目ごとにはそれぞれ特有の項目が設けられており、繰り返しや特例の条件に複数箇所変更や追加がみられる。

## 1.2 難度表の登録数とグループ分け

### 1) 全体での登録数

2025年版採点規則での難度表に掲載された技（枠）数は731技が登録された。2017年版の821技から2022年版の758技へと大幅に整理、統合、削除がされ62技もの減少が見られたが、今回はさらに追加、統合、削除がおこなわれ、2022年版と比較し、総数の差は31技の減少となった（表3）。

減少した要因は個々の技によって意図が異なるが、あん馬で統合、つり輪と跳馬で削除された技が多く見られた。

表 3 2017 年・2022 年・2025 年版採点規則に掲載の種目ごとの技数の比較

|         | ゆか  | あん馬 | つり輪 | 跳馬 | 平行棒 | 鉄棒  | 合計  |
|---------|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|
| 2017 年版 | 112 | 128 | 157 | 99 | 178 | 147 | 821 |
| 2022 年版 | 96  | 113 | 148 | 94 | 177 | 130 | 758 |
| 2025 年版 | 96  | 107 | 137 | 82 | 178 | 131 | 731 |

## 1.3 種目ごとによる技の登録数の変化と主な規則変更の概要

### 1) ゆか

ゆかにおける技の登録数は96技であり、2022年版採点規則との数値差はない（表4）。しかしながら技の統合、追加、難度の変更などが生じている。その中でも、新たにJ難度が設定され、「後方屈身3回宙返り」（ナゴルニー）と「後方伸身2回宙返り7/2ひねり」（ジャーマン）の2技が配置

表 4 ゆか 難度別による掲載された技（枠）登録数

|         | A  | B  | C  | D  | E | F | G | H | I | J | 合計 |
|---------|----|----|----|----|---|---|---|---|---|---|----|
| 2022 年版 | 23 | 22 | 14 | 14 | 9 | 7 | 3 | 3 | 1 |   | 96 |
| 2025 年版 | 23 | 22 | 12 | 13 | 8 | 7 | 5 | 2 | 2 | 2 | 96 |

されたことで、難度表は10段階の分類となった。

加えて、ゆかではグループの再編がされ、グループⅡおよびⅢの1回宙返りで1回以上のひねりを伴う技がグループⅣに集約された。2022年版採点規則にて跳馬で1回以上のひねりを伴う1回宙返り技が一つのグループに集約されたが、同様の方式でまとめられたことになる。

これにより、ひねり技は前方・後方系に関係なくグループⅣとみなされることから、ひねり技を得意としていた選手には演技構成を大幅に見直すことが必要となった。

種目特有の規則としては、①片足平均立ちの実施、②グループⅠの実施の制限、③演技時間の変更、④対角線の連続の制限、⑤終末技で2回宙返りの要求の5項目があげられる。

①片足平均立ちの実施が要求されることとなった。

ゆかの演技にたいし、採点規則には以下の文面が記載されている。

「ゆかの演技は、アクロバットの跳躍技を主にして構成され、力技、バランス技、柔軟技、倒立技、コレオグラフィ的な運動と組み合わせ、すべてを調和させリズムカルに12m×12mのフロアエリア全面を使用して実施されなければならない。」

実際の競技ではDスコアを高めるためにタンプリングを多く実施する必要がある。そのため「最近のゆかの演技はタンプリング競技になった」と言われるほどに跳躍技に注目が浴び、コレオグラフィ的な運動や表現などはなおざりとされている印象である。これを憂慮したFIGは、2022年版採点規則で演技時間を70秒から75秒に延長するという策を採用し、表現力やコレオグラフィ的な捌きを求めたが、その真意が演技に現れたとは言い難い。そこで今回は片足平均立ちの実施を求めることを規則化した。

これは1993年版採点規則で特別要求として定められていた以来32年ぶりの復活となる。この採用により、「ゆかの演技はタンプリングのみでなく様々な能力や表現を取り入れるべきである。」というFIGの思惑がどのように顕在化するか成り行きを見届けたい。

付け加えるならば、片足平均立ちは演技に含まれていれば充分であり、トップレベルの選手たちにとってはDスコアを高めるためには用をなさないため、「脚を保持しない180°の開脚平均立ち」(B難度)を実施する選手は少ないのではないかと予想される。

なお、副次的要因ではあるが、タンプリング前に片足平均立ちを実施することにより、減点項目のひとつ、「技やアクロバットシリーズ前に2秒以上の静止」に抵触せずに、息を整える時間を確保することが期待できると思われる。

②グループⅠの実施の制限が設けられた。これは①の片足平均立ちを導入した意図とは相反することではないが、ゆかの演技はアクロバットの跳躍技を主にして構成されることを求めることから、跳躍技以外の技を多く取り入れ演技を構成すべきではないという考えのもと、旋回技と力静止技はそれぞれ1回のみと制限が設けられた。

③の演技時間の変更では、2022年版採点規則で75秒へと5秒長くなった演技時間が以前の70秒に戻されることとなった。構成要求数が8技に減少したことからこの措置が取られたとのことであるが、②の片足平均立ちを含まなければいけないことで実質9技は必要となる。加えて、Dスコアを高めるため、グループⅠの旋回技または力静止技を含めると、5秒の短縮であっても丁寧な捌き・表現をすることをないがしろにしてしまう可能性がある。選手は常に“美しい体操”としての捌き・表現を忘れずに演技することを期待したい。

④対角線の連続の制限が2回(往復1回)までとなった。この規則は2009年版、2013年版では連続2回まで、2017年版には削除、2022年版では3回までと設定されてきたが、2017年版の規則に戻ったことになる。なお、対角線で2回を超えての実施はニュートラルディダクションとして0.3

表 5 ゆか 難度表変更一覧

| 番号 | 変更項目          | 変更内容                                                                                          |
|----|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 枠の統合<br>難度変更  | 「水平支持（2 秒）」と「中水平支持（2 秒）」が統合（C 難度）                                                             |
| 2  | 枠の統合<br>難度変更  | 「水平支持（2 秒）から伸腕伸身力倒立（2 秒）」と、「中水平支持（2 秒）から伸腕伸身力十字倒立（2 秒）」（アルバリーニョ）が統合（D 難度）                     |
| 3  | 難度の変更         | 「前方かかえ込み 2 回宙返り 1 回ひねり」 E 難度→F 難度                                                             |
| 4  | 難度の変更         | 「前方伸身 2 回宙返り 3/2 ひねり」（ザバタ 2） H 難度→G 難度                                                        |
| 5  | 枠の統合          | 「後方かかえ込み 2 回宙返り 1 回ひねり」（ツカハラ）「後ろとびひねり前方かかえ込み 2 回宙返り」「後ろとびひねり前方かかえ込み 2 回宙返りひねり」が統合（D 難度）       |
| 6  | 難度の変更         | 「屈身 2 回宙返り 1 回ひねり」 D 難度→E 難度                                                                  |
| 7  | 技の統合          | 「後方かかえ込み 2 回宙返り 2 回ひねり」と「後方かかえ込み 2 回宙返り 3/2 ひねり」「後方伸身宙返り 3/2 ひねり前方かかえ込み宙返り」（コロステリェフ）が統合（E 難度） |
| 8  | 枠の変更<br>難度の変更 | 「後方かかえ込み（屈身） 2 回宙返りひねり」、「後ろとびひねり前方かかえ込み（屈身） 2 回宙返り」から「屈身」が別枠（E 難度）                            |
| 9  | 難度の変更         | 「後方屈身 2 回宙返り」 C 難度→D 難度                                                                       |
| 10 | 難度の変更         | 「後方かかえ込み 3 回宙返り」（リューキン） H 難度→I 難度                                                             |
| 11 | 難度の変更         | 「後方屈身 3 回宙返り」（ナゴルニー） I 難度→J 難度                                                                |
| 12 | 難度の変更         | 「後方伸身 2 回宙返り 5/2 ひねり」 G 難度→H 難度                                                               |
| 13 | 枠の統合<br>難度変更  | 「後方伸身 2 回宙返り」と「後ろとびひねり前方伸身 2 回宙返り」（タマヨ）、「後方伸身 2 回宙返りひねり」が統合され、「後方伸身 2 回宙返り」が E 難度に変更          |
| 14 | 難度の変更         | 「後方伸身 2 回宙返り 3/2 ひねり」、「後ろとびひねり前方伸身 2 回宙返り 1 回ひねり」（ヒポリト） F 難度→G 難度                             |
| 15 | 難度の変更         | 「後方伸身 2 回宙返り 1 回ひねり」、「後ろとびひねり前方伸身 2 回宙返りひねり」（ペネフ） E 難度→F 難度                                   |
| 16 | 難度の変更         | 「後方伸身 2 回宙返り 2 回ひねり」 F 難度→G 難度                                                                |
| 17 | 難度の変更         | 「後方伸身 2 回宙返り 3 回ひねり」（シライ 3） H 難度→I 難度                                                         |
| 18 | 技の追加          | 「後方伸身 2 回宙返り 7/2 ひねり」（ジャーマン） J 難度                                                             |
| 19 | 枠の変更          | 「後方伸身宙返りひねり」と「後方伸身宙返り 1 回ひねり」が別枠（B 難度）                                                        |
| 20 | 枠の変更          | EG II および EG III の 1 回宙返りで 1 回以上のひねりを伴う技が EG IV に変更                                           |

※体操競技男子 2025 年版採点規則情報（Ver. 1.0）を元に加筆，修正を行った

の減点が科せられることとなる。ただし，仮に 2 回を超えて実施しても D スコアはそのまま認定される。

⑤終末技で 2 回宙返りの要求が設けられた。過去 10 年程度を振り返ると後方伸身宙返り 3 回ひねりで終わる実施が多く見られた印象であるが，モノトニー化の抑制，ビッグタンプリング（2 回以上の宙返り）を推奨した措置であると考えられる。

上記以外には，側方倒立回転に 1/4 ひねりを加えて前向きで着地する捌き（Tinsica）は認められず，そこから実施した技も認定されない。伸身前跳び前転は両足踏切，かつ空中での伸身姿勢を表現し，正面を見ることを条件とし，これを満たさない場合は難度認定がされない。以上の 2 項目が追記となった。

E 審判の減点項目に「直線的な動きからの逸脱」（減点：0.1, 0.3）が追加された。これは主にロングダートからひねり系の技を実施する際にみられる鉛直上からの逸脱を指しており，跳馬の着手時での角度逸脱と同様である。なお，助走で直線的に走らないことは減点の対象ではないとのこ

とである（助走が歪む場合、その先の技が歪むため、助走に対して減点の対象にすることはしない：FIG国際審判講習会回答）。

## 2) あん馬

あん馬における技の登録数は107技であり、2022年版採点規則からは6技の減少となっている（表6）。

競技で多く実施される技では、ロシアン転向技が一把手上（あん部馬背）を除き、全て難度が1段階下がったことがあげられる。ほか、縦向き3部分の前・後移動（馬端－馬端）で“とび”の捌きにより一段難度が高くていた設定が，“とび”の有無に関わらず、E難度に統合となった（表7）。

表6 あん馬 難度別による掲載された技（枠）登録数

|        | A  | B  | C  | D  | E  | F | G | H | I | 合計  |
|--------|----|----|----|----|----|---|---|---|---|-----|
| 2022年版 | 16 | 29 | 26 | 25 | 14 | 3 |   |   |   | 113 |
| 2025年版 | 20 | 26 | 21 | 23 | 14 | 3 |   |   |   | 107 |

表7 あん馬 難度表変更一覧

| 番号 | 変更項目  | 変更内容                                                        |
|----|-------|-------------------------------------------------------------|
| 1  | 難度変更  | 「あん部馬背縦向き旋回1回ひねり」（2回以内の旋回で）E難度→F難度                          |
| 2  | 難度変更  | 「ショーン」E難度→D難度                                               |
| 3  | 難度変更  | 「把手上ロシアン360°（540°）転向」B難度→A難度                                |
| 4  | 難度変更  | 「把手上ロシアン720°（900°）転向」C難度→B難度                                |
| 5  | 難度変更  | 「把手上ロシアン1080°以上転向」D難度→C難度                                   |
| 6  | 難度変更  | 「馬端馬背ロシアン360°（540°）転向」B難度→A難度                               |
| 7  | 難度変更  | 「馬端馬背ロシアン720°（900°）転向」C難度→B難度                               |
| 8  | 難度変更  | 「馬端馬背ロシアン1080°以上転向」D難度→C難度                                  |
| 9  | 難度変更  | 「ロシアン360°（540°）転向下り」B難度→A難度                                 |
| 10 | 難度変更  | 「ロシアン720°（900°）転向下り」C難度→B難度                                 |
| 11 | 難度変更  | 「ロシアン1080°（以上）転向下り」D難度→C難度                                  |
| 12 | 難度変更  | 「下向き正移動下向き転向下り」B難度→A難度                                      |
| 13 | 枠の統合  | 「ケイハ2」と「馬端旋回ひねり」が統合（B難度）                                    |
| 14 | 枠の統合  | 「とび横移動（馬端～馬端）」と「1回の旋回で横移動」が統合（D難度）                          |
| 15 | 枠の統合  | 「ドリッグス」と「縦向き前移動（両把手を超えて馬端～馬端）」が統合→「縦向き（とび）前移動（馬端－馬端）」（E難度）  |
| 16 | 枠の統合  | 「リード」と「クルバノフ」が統合→「縦向き（とび）後ろ移動（馬端－馬端）」（E難度）                  |
| 17 | 削除    | 「一把手上横向き旋回」が削除                                              |
| 18 | 削除    | 「縦向き1/3移動ひねり」が削除                                            |
| 19 | 削除    | 「縦向き（1/2 or 2/3）前（後ろ）移動ひねり」が削除                              |
| 20 | 削除    | 「ピロゼルチェフ」が削除                                                |
| 21 | 削除    | 「ウルジカ」が削除                                                   |
| 22 | 削除    | 「クロル」が削除                                                    |
| 23 | 技名の変更 | 「正交差ひねり一把手上倒立経過、下ろして開脚支持」（リーニン）→「正交差ひねり一把手上倒立経過逆交差入れ」（リーニン） |
| 24 | 技名の変更 | 「開脚支持後ろ振り一把手上倒立経過、下ろして開脚支持」→「開脚支持後ろ振り一把手上倒立経過、逆交差入れ」        |

※体操競技男子 2025年版採点規則情報（Ver. 1.0）を元に加筆、修正を行った

あん馬におけるDスコアに関与する主な変更点は以下があげられる。

- ① 一把手上のすべての交差倒立技での捌きでの追加条件
- ② 開脚旋回によるフロップの難度格上げの削除
- ③ 特別な繰り返しの追加条件, 追加項目
- ④ ウ・グォニアンウ・グォニアンの捌きに関する条件

①一把手上のすべての交差倒立技での捌きでの追加条件

2025年版採点規則に、「一把手上のすべての交差倒立技は、逆交差入れで完了しなくてはならない。」という一文が記載された。これにより「正交差ひねり一把手上倒立経過、下ろして開脚支持」(リーニン)をはじめ、同様の技は、倒立から下ろす際、逆交差で捌くことが求められることになった(以下、交差倒立技群と記す)。これは2017年版に握り手の入れ替えを求める条件に加えて2度目の条件追加である。

②開脚旋回によるフロップの難度格上げの削除

フロップ技を開脚旋回で実施した場合、1段階難度を格上げする規則が設けられていたが、今回削除され、閉脚での実施と同等の価値となった。これは開脚旋回を抑制する方向が打ち出されている流れの一環であると思われる。

③特別な繰り返しの追加条件, 追加項目

2022年版では8項目の特別な繰り返しが設けられていたが、一部に追加の条件が加えられた。また、viiのショーン系とベズゴ系は別項目であったが、一つに統合された。2025年版ではあらたに一つの項目が加わり、以下の8項目となった。

- i. 縦向き3部分移動技の制限として対象6技のうち、実施可能な技は2技とする。
- ii. ロシアン転向技は2回までとする。さらに条件として同じ部位(馬端馬背、一把手上、あん部馬背)で実施された転向度数が違うロシアン技の場合、難度の高い技一技のみが認定される。ただし、演技中間と終末技が同じ部位で実施されたロシアン転向技の場合は、終末技のロシアン転向の転向度数が少なくとも優先することになる。
- iii. 交差または旋回からの倒立技は終末技を除き、2回まで実施可能とする。ただし、ブスナリ系の技は1回のみとする。
- iv. ロシアン転向移動技は対象技が6技あるうち、2技までとする。追加条件としてロシアン転向3/3部分移動技、トンフェイ系の技は各々1回までとする。
- v. ひねりを伴う3部分移動技は4技あるうち、2技までとする。追加条件として、ニンレイズ系の技は1回までとする。
- vi. シュビンデル(1回)ひねり技は6技あるうち、2技までとする。
- vii. ショーン系、ベズゴ系の技はフロップ、コンバイン、倒立位を含めて2回までとする。
- viii. 開脚旋回技は4回まで(終末技を除く)

viiiの「開脚旋回技は4回まで(終末技を除く)」では、演技の大半を開脚旋回で実施する演技構成に抑制を課したことになる。これにより、開脚旋回を得意とする選手は演技構成を大幅に見直すことが求められる。審判員の視点では、大半が開脚旋回での演技は技を記録するのに苦勞することが報告されているため、その点では負担の軽減がなされたが、技の速記の際、閉脚旋回か開脚旋回のどちらで実施されたかを明確にすることが必要となり、速記の改善が必要となった。

これら8つの項目の条件は同じ系統の技のみで演技の大半を占める状況を抑制し、多種多様な技

を導入させることには一定の効果があるかもしれない。しかし、条件が多くなるにつれ、結果的に演技構成のモノトニー化が促進されることも想像される。

#### ④ウ・グォニアン の捌きに関する条件

2022年版までは「ロシアン720°（以上）転向移動」との技表記であり、条件としては、「片手または両手の支持があん部馬背に達するまでに360°の転向を完了していなければならない。」とされていたが、2025年版ではあん部馬背で両手の支持が求められることとなった。これにより、今まで認められていた片手のみあん部馬背での捌きは、ロス（D難度）として認定されることとなった。

上記以外で特筆すべき点として、「上向き転向、下向き逆移動、上向き転向（以下モギルニー）」の捌きに関する条件についてである。

パリオリンピックで杉野正堯選手が実施したモギルニーが認定されず、クロールと判定されたが、その理由として終末局面での正面支持が両手馬端でなかったことが指摘された。これは複数の言語による採点規則のうち、ロシア語版では両手馬端の条件が記載されていたものの、英語版をはじめ、その他の言語版ではこの条件が記載されていなかったことが原因である。以前にも各言語版間での表記の差異が指摘されていたが、2025年版から英語のみの表記となることは、この問題が解決されたことになる。なお、2025年版ではクロールが削除となり、仮に杉野選手の捌きでモギルニーを実施した場合は、何も認められないこととなる。

その他、2022年版まで唯一、あん馬でD審判が関与するニュートラルディダクションとして設けられていた「馬体の3部分を使用しない」（減点0.3）が削除された。これが適用されるのは初心者が出場する大会で散見されるのみであったため、現代の競技状況を鑑みると妥当な判断である。

### 3) つり輪

技数は11技の減少であるが難度の格上げや格下げ、追加や削除など28項目での変更が確認された（表8）（表9）。

難度間の移動では、後方屈身3回宙返り下りが格上げされ、つり輪で初のI難度となっている。

十字懸垂と十字倒立の難度が格上げされた。あわせてグループⅢの十字倒立に収める5つの技が格上げされた。2022年版ではグループⅡの十字倒立に収める技が難度格上げとなっている。これにより、十字倒立に収める技を演技にとり入れることが増えていくことが予想される。しかし、持ち込みの高さ逸脱、静止時での高さ逸脱、姿勢、手首、揺れ、時間など、多くの減点項目に抵触しやすい技でもあるので、完成度を上げなければ、大きな減点を科せられることになる。

一方、ヤマワキ、ジョナサンは1段階格下げとなった。ただし、ヤマワキまたはジョナサンから直接後ろ振り上がり倒立（2秒）を実施した場合には、ヤマワキまたはジョナサンの難度が1段階格上げされる。格上げの条件として、その振動倒立技はカウントされる8技に含まれていなければならないという条件が付帯されている。今後の演技構成を構築する上で、どのようにとり入れるか検討が必要である。

つり輪に設けられている特別な繰り返しに関して、採点規則には以下が記載されている。

表8 つり輪 難度別による掲載された技数

|        | A  | B  | C  | D  | E  | F  | G | H | I | 合計  |
|--------|----|----|----|----|----|----|---|---|---|-----|
| 2022年版 | 19 | 26 | 30 | 33 | 28 | 10 | 1 | 1 |   | 148 |
| 2025年版 | 19 | 25 | 29 | 26 | 22 | 11 | 4 | 0 | 1 | 137 |

表 9 つり輪 難度表変更一覧

| 番号 | 変更項目         | 変更内容                                                                                                                 |
|----|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 難度変更         | 「前方かかえ込み 2 回宙返り懸垂 (ヤマワキ)」 C 難度→B 難度                                                                                  |
| 2  | 難度変更         | 「前方屈身 (伸身) 2 回宙返り懸垂 (ジョナサン)」 D 難度→C 難度                                                                               |
| 3  | 難度変更         | 「十字倒立 (2 秒)」 C 難度→D 難度                                                                                               |
| 4  | 難度変更         | 「懸垂から伸腕で引き上げ上向き中水平支持 (2 秒)」 (タロック 2) F 難度→G 難度                                                                       |
| 5  | 難度変更         | 「脚前挙十字懸垂から伸腕屈身力十字倒立 (2 秒)」 D 難度→E 難度                                                                                 |
| 6  | 難度変更         | 「十字懸垂から伸腕伸身力十字倒立 (2 秒)」 E 難度→F 難度                                                                                    |
| 7  | 難度変更         | 「中水平支持から」伸腕伸身力十字倒立 (2 秒)」 E 難度→F 難度                                                                                  |
| 8  | 難度変更         | 「背面水平懸垂経過引き上げ十字倒立 (2 秒)」 (カルモナ) F 難度→G 難度                                                                            |
| 9  | 難度変更         | 「懸垂から伸腕伸身中水平支持 (2 秒)」 (バランディン 1) E 難度→F 難度                                                                           |
| 10 | 難度変更         | 「懸垂から伸腕伸身十字倒立 (2 秒)」 (バランディン 2) F 難度→G 難度                                                                            |
| 11 | 難度変更         | 「後方屈身 3 回宙返り下り」 (ウィッテンバーグ) H 難度→I 難度                                                                                 |
| 12 | 枠の統合<br>難度変更 | 「後方屈身 2 回宙返り懸垂」と「後方伸身 2 回宙返り懸垂 (オニール)」が統合 (D 難度)                                                                     |
| 13 | 枠の統合<br>難度変更 | 「十字懸垂 (2 秒)、脚前挙十字懸垂 (2 秒)」と「脚上挙十字懸垂 (2 秒)」が統合し、C 難度へ変更                                                               |
| 14 | 枠の統合<br>難度変更 | 「アザリアン」と「タイ」が統合 (D 難度)                                                                                               |
| 15 | 枠の統合<br>難度変更 | 「ナカヤマ」とグ・キュウ・チャン」が統合 (D 難度)                                                                                          |
| 16 | 枠の統合<br>難度変更 | 「十字倒立からゆっくり下ろして逆懸垂経過伸腕伸身逆上がり十字懸垂 (2 秒)」 (ボロビオフ)と「十字倒立からゆっくり下ろして逆懸垂経過伸腕伸身逆上がり脚上挙十字懸垂 (2 秒)」 (ゾウ)が統合 (ボロビオフ・ゾウ) (D 難度) |
| 17 | 枠の統合<br>難度変更 | 「後方かかえ込み 2 回宙返り 1 回ひねり下り」と「後方かかえ込み 2 回宙返り 3/2 ひねり下り」が統合 (C 難度)                                                       |
| 18 | 技名の追加        | 「ゆっくりと伸腕伸身で前に回り (脚前挙) 十字懸垂 (2 秒)」 D 難度 (ダフチャン)                                                                       |
| 19 | 技名の追加        | 「ゆっくりと後方伸腕伸身逆上がり十字倒立 (2 秒)」 F 難度 (シーモノフ)                                                                             |
| 20 | グループの<br>変更  | 「ほん転逆上がり、脚を腕の上に乘せた開脚前挙支持 (2 秒)」 B 難度 (デルチェフ) が E G III へ変更                                                           |
| 21 | 技の追加         | 「十字倒立からゆっくり下ろして逆懸垂経過伸腕伸身逆上がり中水平支持 (2 秒)」 (ヨブチェフ) の枠に新たに「十字倒立からゆっくり下ろして逆懸垂経過伸腕伸身逆上がり水平支持 (2 秒)」が追加 (E 難度)             |
| 22 | 削除           | 「後ろ振り上がり開脚前挙支持 (2 秒)」が削除                                                                                             |
| 23 | 削除           | 「十字倒立から押し上げ倒立 (2 秒)」が削除                                                                                              |
| 24 | 削除           | 「ゆっくりと前方伸身支持回転伸腕伸身力倒立 (2 秒)」が削除                                                                                      |
| 25 | 削除           | 「ゆっくりと前方伸腕伸身支持回転十字倒立 (2 秒)」が削除                                                                                       |
| 26 | 削除           | 「水平支持から伸腕伸身力十字倒立 (2 秒)」が削除                                                                                           |
| 27 | 削除           | 「ゆっくりと伸腕伸身逆上がり中水平経過力倒立 (2 秒)」 (アイト・サイド) が削除                                                                          |
| 28 | 削除           | 「後ろ振り上がり脚上挙十字懸垂 (2 秒)」 (カトー) が削除                                                                                     |

※体操競技男子 2025 年版採点規則情報 (Ver. 1.0) を元に一部加筆

## 技の繰り返し（同一系統の技）

- a) グループⅡおよび（または）Ⅲの技は連続して3回まで実施することができ、4回目以降はD審判によって難度は認定されない。
- b) グループⅡおよび（または）Ⅲの技を3連続した後にグループⅠのB難度以上の技を実施すれば改めてグループⅡおよび（または）Ⅲの技を3連続まで実施することが可能である（ただし、Ⅰ-56、Ⅰ-74を除く）。また、このB難度以上の技はカウントされる8技に含まれていなければならない。

要求数が8技となり、終末技を除く7技で得点を高めるための演技構成を構築するには、グループⅡとⅢの力静止技を多く取り入れることは必然である。ただし、連続3回までの制限を考慮すると、グループⅡもしくはⅢで3技を連続、次にグループⅠの技を挟み、再び、ⅡもしくはⅢの技を実施することになる。ここで4つ目に実施したグループⅠが8技にカウントされなければ、それ以降のⅡもしくはⅢの技が繰り返しの対象に抵触する。また、7技内に振動倒立技（C難度）を含まなければならない。ニュートラルディグクッションとして0.3の減点が科せられるので、この点も考慮しなければならない。高難度の力静止技はその遂行自体に難しさとともに、様々な減点項目の攻略を対処しなければ、Eスコアを下げてしまうことになる。

## 4) 跳馬

跳馬における技の登録数は82技であり、2022年版採点規則の94技から12技の減少となっている（表10）。新たに追加された技は、「ツカハラ5/2ひねり」、「ユルチェンコ5/2ひねり」の2技である。削除された技はロンダート入りから第一空中局面で1回ひねりを行い着手する全ての跳越技（シェルボ系技群：14技）である（表11）。

今回の大きな改定は二つ。一つ目は他5種目の要求技数の減少に伴いDスコアが下がることを想定し、跳馬のみ突出しないよう全ての価値点を0.4下げることとなっている。二つ目は、跳越グループの再編である（表12）。

グループⅠ、Ⅱ、Ⅲは前回同様の配置であり、分類に変化はない。ただし、グループⅡとⅢから5技がグループⅠへと移動している。

グループⅣとⅤはロンダート踏切の跳越技であるが、2022年版採点規則でみられたグループⅡとⅢから一定の条件により抽出された跳越技がⅠにまとめられたのと同様の分類が施された。

グループⅣはロンダート入りおよびロンダート入りからひねりを伴う技のうち、第二空中局面にて1回宙返り、かつ、ひねりを伴う技である。なお、ロンダート入りから着手までにひねりを伴う跳越技において、ここでのひねりも含め踏切から着地までのひねり度数の合計が1回以上であれば、このグループに含まれる。

グループⅤはロンダート踏切の技のうち、グループⅣに抽出された技以外のすべての跳越技が

表10 跳馬 価値点別による掲載された技数

| 価値点    | 1.2 | 1.4 | 1.6 | 1.8 | 2.0 | 2.2 | 2.4 | 2.6 | 2.8 | 3.0 | 3.2 | 3.4 | 3.6 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 2022年版 |     |     | 3   | 4   | 4   | 5   | 7   | 3   | 5   | 4   | 6   | 2   | 7   |
| 2025年版 | 3   | 4   | 4   | 4   | 6   | 2   | 4   | 2   | 6   | 1   | 7   | 1   | 7   |

  

| 価値点    | 3.8 | 4.0 | 4.2 | 4.4 | 4.6 | 4.8 | 5.0 | 5.2 | 5.4 | 5.6 | 5.8 | 6.0 | 合計 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 2022年版 | 3   | 5   | 2   | 3   | 2   | 3   | 2   | 6   | 3   | 8   | 2   | 5   | 94 |
| 2025年版 | 1   | 3   | 1   | 3   | 1   | 6   | 2   | 8   | 1   | 5   |     |     | 82 |

表 11 跳馬 難度表変更一覧

| 番号 | 変更項目   | 変更内容                                                                   |
|----|--------|------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 追加     | ツカハラ 5/2 ひねり (グループ I : 価値点 3.6)                                        |
| 2  | 追加     | ユルチェンコ 5/2 ひねり (グループ IV : 価値点 3.6)                                     |
| 3  | 削除     | ユルチェンコ入りから 1 回ひねりを伴う全ての跳越技 (シャルボ系技群)                                   |
| 4  | グループ移動 | ・前転とび前方かかえ込み宙返りひねり<br>・前転とびひねり後方かかえ込み宙返り (クエルボ)<br>両技同枠 グループ II → I    |
| 5  | グループ移動 | ・前転とび前方屈身宙返りひねり<br>・屈身クエルボ<br>両技同枠 グループ II → I                         |
| 6  | グループ移動 | ・前転とび前方伸身宙返りひねり<br>・伸身クエルボ<br>両技同枠 グループ III → I                        |
| 7  | グループ移動 | ・側転とび 1/4 ひねり前方かかえ込み宙返りひねり (カサマツ)<br>・ツカハラ 1 回ひねり<br>両技同枠 グループ III → I |
| 8  | グループ移動 | ・伸身カサマツ<br>・伸身ツカハラ 1 回ひねり<br>両技同枠 グループ III → I                         |

※体操競技男子 2025 年版採点規則情報 (Ver. 1.0) を元に加筆, 修正を行った

表 12 跳馬 跳越グループ

| グループ | 超越技分類詳細                                                           |
|------|-------------------------------------------------------------------|
| I    | 1 回以上のひねりを伴う 1 回宙返り技                                              |
| II   | 前転とび、前転前方 1 回宙返り、すべての前方 2 回宙返り技<br>(グループ I を除く前転とび系の技)            |
| III  | 側転とびとツカハラ (ひねり)、カサマツ、すべての後方 2 回宙返り技<br>(グループ I を除く側転とび系の技)        |
| IV   | ロンダート踏切の技でひねりを伴う 1 回宙返り技                                          |
| V    | ロンダート踏切で単純なひねりを伴うまたは伴わない技、すべての 2 回宙返り技<br>(グループ IV を除くロンダート踏切系の技) |

まとめられた。

#### 5) 平行棒

平行棒における技の登録数は 178 技であり, 2022 年版採点規則の 177 技から 1 技の増加となっている (表 13)。2 技が削除, 2 技が追加, 1 技 (枠) が 2 つの枠に分割されたことが要因である。

技数数の変更は軽微であるが難度の格上げや格下げが 24 項目で確認された (表 14)。

その中で, 「懸垂前振りひねり前方屈身 2 回宙返り腕支持」(エスパルサ) と「バーレ 1 回ひねり」(キンテロ) の 2 技が格上げされ, 平行棒で初の H 難度となっている。

平行棒では今までのグループ I, 「両棒での支持技」とグループ II, 「腕支持振動技」が入れ替わっている。これは, 技のグループの価値点の変更により, ゆか, あん馬, つり輪, 鉄棒でグループ I のみが以前と変わらず 0.5 を加算する方式としたが, 平行棒の場合, ジュニア選手や初級レベルの選手にとって, 「腕支持振動技」で D 難度以上の技を取り入れることが難しいこと, これまでの演技

表13 平行棒 難度別による掲載された技数

|        | A  | B  | C  | D  | E  | F  | G | H | I | 合計  |
|--------|----|----|----|----|----|----|---|---|---|-----|
| 2022年版 | 15 | 35 | 41 | 34 | 30 | 15 | 7 |   |   | 177 |
| 2025年版 | 16 | 34 | 41 | 30 | 28 | 18 | 9 | 2 |   | 178 |

表14 平行棒 難度表変更一覧

| 番号 | 変更項目         | 変更内容                                                             |
|----|--------------|------------------------------------------------------------------|
| 1  | 記述変更         | 「後ろ振り（単棒）倒立（2秒）」、（単棒）と（2秒）が削除<br>→「後ろ振り倒立」                       |
| 2  | 削除           | 「前振り開脚抜き前方宙返り腕支持」が削除                                             |
| 3  | 難度変更         | 「後方棒上かかえ込み2回宙返り腕支持（モリスエ）」D難度→E難度                                 |
| 4  | 難度変更         | 「後方棒上屈身2回宙返り腕支持（ファン・リーピン）」E難度→F難度                                |
| 5  | 難度変更         | 「後方棒上2回宙返りひねり腕支持（クアビタ）」F難度→G難度                                   |
| 6  | 難度変更         | 「（単棒）倒立からヒールー腕支持」B難度→A難度                                         |
| 7  | 難度変更         | 「単棒倒立になる振動技（B難度以上）からヒールー腕支持」C難度→B難度                              |
| 8  | 難度変更         | 「（単棒）倒立から片腕支持1回ひねり支持」（ヒールー）D難度→C難度                               |
| 9  | 難度変更         | 「単棒倒立になる振動技（B難度以上）からヒールー支持」（ベジェナル）<br>E難度→D難度                    |
| 10 | 難度変更         | 「後ろ振り」とびひねり倒立」B難度→C難度                                            |
| 11 | 難度変更         | 「後ろ振り」とび3/4ひねり倒立」C難度→D難度                                         |
| 12 | 難度変更         | 「後ろ振り」とび1回ひねり倒立（ギャツツン）」D難度→E難度                                   |
| 13 | 難度変更         | 「後ろ振り」とび5/4ひねり倒立経過1/4ひねり倒立（ギャツツン2）」<br>E難度→F難度                   |
| 14 | 難度変更         | 「前方かかえ込み2回宙返り腕支持」D難度→E難度                                         |
| 15 | 難度変更         | 「前方屈身2回宙返り腕支持」E難度→F難度                                            |
| 16 | 削除           | 「前方かかえ込み（屈身）宙返り1/4ひねり単棒懸垂」が削除                                    |
| 17 | 難度変更         | 「前振り上がり後方かかえ込み2回宙返り腕支持（ドミトリエンコ）」<br>E難度→F難度                      |
| 18 | 難度変更         | 「前振り上がり後方屈身2回宙返り腕支持（リー・シャオペン）」<br>F難度→G難度                        |
| 19 | 難度変更         | 「後ろ振り上がり前方かかえ込み2回宙返り腕支持」E難度→F難度                                  |
| 20 | 難度変更         | 「懸垂前振り後方かかえ込み2回宙返り腕支持（ペーレ）」D難度→E難度                               |
| 21 | 難度変更         | 「屈身ペーレ」E難度→F難度                                                   |
| 22 | 難度変更         | 「ペーレ1回ひねり（キンテロ）」G難度→H難度                                          |
| 23 | 難度変更         | 「懸垂前振りひねり前方かかえ込み2回宙返り腕支持（タナカ）」<br>F難度→G難度                        |
| 24 | 難度変更         | 「懸垂前振りひねり前方屈身2回宙返り腕支持（エスバルサ）」<br>G難度→H難度                         |
| 25 | 難度変更         | 「棒下宙返り、かかえ込み姿勢でひねり腕支持（ギャニオン）」<br>C難度→B難度                         |
| 26 | 難度変更         | 「棒下宙返り、屈身姿勢でひねり腕支持（ギャニオン2）」<br>D難度→C難度                           |
| 27 | 枠の分割<br>難度変更 | 「前方屈身（伸身）宙返り1回（3/2）ひねり下り（C難度）」が<br>「1回ひねり（B難度）」と「3/2ひねり（C難度）」に分割 |
| 28 | 技の追加         | 「棒端懸垂前振り後方伸身2回宙返り下り」E難度                                          |
| 29 | 技の追加         | 「棒端懸垂前振り後方かかえ込み3回宙返り下り」G難度                                       |

※体操競技男子2025年版採点規則情報（Ver.1.0）を元に加筆，修正を行った

から「前振り上がり」(A 難度)でグループの価値点を満たしている演技も多くみられたことにより、「グループ I は難度に関係なく 0.5 を加算する」という規則に合わせたことによる措置であろう。

注目される難度変更では、今までの演技構成で頻繁に見られた「倒立から片腕支持1回ひねり支持」（以下ヒーリー）が1段階格下げとなりC難度となった。

一方、2回宙返りから腕支持になる技の多くで1段階格上げが見られる。ただし、腕支持になる技は身体への負担も大きく、選手がどの程度取り入れていくかは、慎重に検討する必要がある。

平行棒における特別な繰返しでは、「同一グループ内の終末姿勢や姿勢の異なる同じ種類の宙返り技を行うことはできない」、「後方車輪倒立技は最大2回まで認められる」、「棒下宙返り（逆上がり）倒立技は最大2回まで認められる」の3項目に加え、あらたに「前振り上がりから倒立になる技は最大2回まで認められる」が加わった。この対象は7技であるが、前振り上がりからの技を得意とする選手は、数多くの技を取り入れていたため、この制限により演技構成の構築を余儀なくされることになった。

6) 鉄棒

鉄棒における技の登録数は131技であり、2022年版採点規則の130技から1技の増加となっている(表15)。

1技が追加, 1技が削除, 1技(枠)が2つの枠に分割されたことが要因である。

技数数の変更は軽微であるが難度の格上げや格下げが14項目で確認された（表17）。

特筆すべき点として、難度が格上げとなっているのはすべてグループⅡの手放し技である。また、鉄棒のみで認められた唯一の特例として2つの手放し技を直接連続して実施した場合に限り、5つ目の手放し技（グループⅡ）の実施が認められるとしており、鉄棒における雄大な演技を推奨している傾向が伺える。

鉄棒特有の特別な繰り返しの制限では、トカチェフ系（ピアッティを含む）、コバチ系、ギンガー系、イエーガー系、マルケロフ系、バーを越えながら前方宙返り系の手放し技は演技中に最大2回まで実施することができるとしており、同系統の技のみで構成することなく、多様な技を取り入れた演技構成が必要とする条件が課せられている。

組合せ加点では、アドラー以外にもグループⅠもしくはⅢのD難度以上の技とD難度以上の手放し技の組み合わせでも加点が得られるようになった(表16)。

グループⅠもしくはⅢと難度の格上げがされた技との組み合わせにより、Dスコアを高める実施は今後見られてくると予想される。一例を挙げるとリバルコ（D）から（大逆手）前方伸身宙返り懸垂（E）（+0.2）、アドラーひねり倒立（D）からリュウキン（G）（+0.2）、アドラー１回ひねり倒立（D）からヤマワキ１回ひねり（G）（+0.2）など、実施が期待される。

表 15 鉄棒 難度別による掲載された技数

|         |    |    |    |    |    |   |    |   |   |     |
|---------|----|----|----|----|----|---|----|---|---|-----|
|         | A  | B  | C  | D  | E  | F | G  | H | I | 合計  |
| 2022 年版 | 16 | 27 | 32 | 25 | 12 | 7 | 9  | 1 | 1 | 130 |
| 2025 年版 | 15 | 27 | 31 | 25 | 14 | 3 | 10 | 5 | 1 | 131 |

表 16 組み合わせによる加点

| 手放し技    | 手放し技 | 加点     | EG I またはⅢの技 | 手放し技   | 加点  |
|---------|------|--------|-------------|--------|-----|
| C 難度    | +    | D 難度以上 | =           | D 難度以上 | 0.1 |
| D 難度    | +    | D 難度   | =           | D 難度以上 | 0.1 |
| D 難度以上  | +    | E 難度以上 | =           | E 難度以上 | 0.2 |
| (この逆も可) |      |        | (この逆も可)     |        |     |

その他、変更点として、Eスコアに関する項目では、角度逸脱に関する減点項目が二通りの項目に分けられた。FIGとしては、2022年版での角度減点では一部の技の判定にこの減点項目が適していない、必要以上に減点される傾向にあったため、鉄棒のEスコアが低くなり過ぎることを避けたいとの見解である（国際審判講習会）（表18）。

表 17 鉄棒 難度表変更一覧

| 番号 | 変更項目         | 変更内容                                                               |
|----|--------------|--------------------------------------------------------------------|
| 1  | 削除           | 「大順手車輪」削除                                                          |
| 2  | 難度変更         | 「ヤマワキ1回ひねり」（ウェルストロム）F難度→G難度                                        |
| 3  | 難度変更         | 「伸身トカチェフ1回ひねり」（リューキン）F難度→G難度                                       |
| 4  | 難度変更         | 「伸身ピアッティ1回ひねり」（スアレス）G難度→H難度                                        |
| 5  | 枠の変更<br>難度変更 | 「イエーガー」と「屈身イエーガー」が別枠へ<br>「屈身イエーガー」が難度変更（C難度→D難度）                   |
| 6  | 難度変更         | 「伸身イエーガー」（バラバノフ）D難度→E難度                                            |
| 7  | 難度変更         | 「伸身イエーガー1回ひねり懸垂」（ウインクラー・ポゴレロフ）<br>F難度→G難度                          |
| 8  | 難度変更         | 「伸身イエーガー2回ひねり懸垂」G難度→H難度                                            |
| 9  | 難度変更         | 「後方屈身（伸身）宙返りひねり懸垂」（ギンガー・サブロンネコ）<br>C難度→D難度                         |
| 10 | 難度変更         | 「ギンガー1回ひねり」（デフ）F難度→G難度                                             |
| 11 | 難度変更<br>記述変更 | 「バーを越えながら前方かかえ込み（開脚）宙返り懸垂」（ゲイロード）<br>D難度→E難度 ※（開脚）を削除              |
| 12 | 難度変更         | 「ゲイロードひねり」（ペガン）F難度→G難度                                             |
| 13 | 難度変更         | 「ゲイロード1回ひねり」（コーディノフ）G難度→H難度                                        |
| 14 | 難度変更         | 「屈身ゲイロード」E難度→F難度                                                   |
| 15 | 難度変更         | 「屈身ペガン」（マラス）G難度→H難度                                                |
| 16 | 技名追加         | 「（バーを越えながら）前方伸身2回宙返り（ひねり）下り」<br>（ロースリースパーガー2）：グループIV・D難度           |
| 17 | 技名追加         | 「バーを越えながら前方かかえ込み（屈身）2回宙返り1回（3/2）ひねり下り」<br>（ロースリースパーガー1）：グループIV・D難度 |
| 18 | 技の追加         | 「バーを越えながら、後方伸身2回宙返り2回(3/2)ひねり下り」<br>（フォーク）（バルベルデ）：グループIV・E難度       |

※体操競技男子 2025 年版採点規則情報（Ver. 1.0）を元に加筆、修正を行った

表 18 すべての倒立を経過する技の角度逸脱に関する減点項目

| 倒立を経過する角度 | アドラー、シュタルダー、<br>エンドー、1/2 ひねりなど | ひねって片大逆手または大逆手、<br>クースト、とび車輪など |
|-----------|--------------------------------|--------------------------------|
| 0°～ 15°   | 減点なし                           | 減点なし                           |
| >15°～ 30° | -0.10                          |                                |
| >30°～ 60° | -0.30                          | -0.10                          |
| >60°～ 90° | -0.50                          | -0.30                          |
| 90°を超える   | -0.50（不認定）                     | -0.50（不認定）                     |

## 2. 2022 年版採点規則による演技構成との比較, および演技構成上の指標

2024 オリンピック・パリ大会種目別決勝進出者の演技構成が2025 年版採点規則を適用するとどのようなDスコアの値になるのか、また、どのような現象が見られるのかを国際審判員の資格を有する筆者が検証を行った。

当然のことであるが、2025 年版において技の要求数が減少したことによりDスコアが下がること、2022 年版ルールで構成された演技構成のため、新ルールで抵触する（減点される）箇所が生じることは論を俟たない。そのような中で、2025 年版にて演技を構築する上で指標となるポイントを探った。

対象とした演技は、オリンピック・パリ大会、種目別決勝に進出した各種目8名の演技である。選手の掲載順は決勝における結果により上位順とした。なお、種目別決勝にて大過失や落下などにより、予選よりも大幅にDスコアを下げていた場合、予選の演技を取り上げることとした。

演技構成表での技表記に関しては枠幅の都合上、競技関係者が理解できる表記とした。

### 2.1 ゆか

10技で構成された演技から新ルールのDスコア算出方法に従い8技を抽出、スコアを割り出した。もっとも大きく数値を下げた演技はKOVTON Illia選手（UKR）であり、6.2から4.6となった。主な原因はグループⅣの技が6技あり、2技が削除されたこと、旋回系の技を2技実施していたが、1技への制限規制のため1技削除されたことであり、削除された穴埋めをA難度で補う形となった。加えて、2つの組合せ加点のタンプリングシリーズが、いずれもカウント対象外となり加点されなくなった。新ルールで算出を試みた結果、同じグループから技を頻出した演技構成となっていることから、大幅な減少となった。

一方、得点減少が少なかった演技はJARMAN Jake選手（GBR）であり、6.6から6.3と0.3の微減となった。その要因の一つとして、演技冒頭に実施している後方伸身2回宙返り3回ひねりが難度格上げとなっていること、二つ目のタンプリングの組合せが存続したことにより加点が得られていることなどが挙げられる。あわせて、カウントされない技が低難度であったことも一因である。

JARMAN選手はI難度を実施しているが、本人の名がついたJ難度も実施可能であることから、さらにDスコアを高める方策が可能であろう。

ゆかにおいては終末技での難度価値の値が、グループ点として同等の値を加算することにならないため、無理を押して高難度技を実施することが第一優先とする必要はないのかもしれない。ただし、ゆか特有の要求項目として、終末技で2回宙返り系の技を実施することが求められた。検証した8演技の中ではDOLGOPYAT Artem選手（ISR）とZAPATA Rayderley選手（ESP）のみが終末技で2回宙返り系の技を実施していた。他の選手はひねり系の技を実施しているが、これは大多数の選手で同様の傾向が見られる。

新ルールでは、後方屈身2回宙返りがD難度に、後方伸身2回宙返りがE難度に格上げされたことから、難度を高め、スティックボーナスを得ることまでを考えると、ひねりを伴わないこれらの技も増加してくることが予想される。また、今まで演技の前半に実施されることの多い、後方かかえ込み2回宙返り1回ひねりや同様の技を終末技で実施する選手も増えることが予想される。

ゆかのニュートラルディダクションの項目として、先の終末技での2回宙返りを条件とする以外に、対角線の直接の連続利用の制限、片足水平立ちの実施があげられる。

表19 パリオリンピック種目別決勝 ゆか演技構成

## 1位.YULO Carlos Edriel (PHI)

| No.              | 技名             | 2022年版 |     |      | 2025年版 |     |      |
|------------------|----------------|--------|-----|------|--------|-----|------|
|                  |                | 難度     | Grp | Con. | 難度     | Grp | Con. |
| 1                | 後方伸身宙返り5/2ひねり  | D      | III |      | D      | IV  |      |
| 2                | 前方屈身2回宙返り      | E      | II  | 0.2  | E      | II  | 0.2  |
| 3                | 前方伸身宙返り2回ひねり   | D      | II  |      | D      | IV  |      |
| 4                | 前方かかえ込み2回宙返り   | D      | II  | 0.2  | D      | II  | 0.2  |
| 5                | 後方伸身2回宙返り1回ひねり | E      | III |      | F      | III |      |
| 6                | 後方伸身宙返り3回ひねり   | D      | III |      | D      | IV  |      |
| 7                | 開脚座から伸腕屈身力十字倒立 | C      | I   |      | C      | I   |      |
| 8                | 前方伸身宙返り1回ひねり   | C      | II  |      | C      | IV  |      |
| 9                | 前方伸身宙返り5/2ひねり  | E      | II  |      | E      | IV  |      |
| 10               | 後方伸身宙返り7/2ひねり  | E      | IV  |      | E      | IV  |      |
| 2025年版グループ価値点/ND |                | I      | II  | III  | IV     | ND  |      |
|                  |                | 0.5    | 0.5 | 0.5  | 0.5    | 0.9 |      |
| Dスコア             |                | 6.6    |     |      | 6.0    |     |      |

## 2位.DOLGOPYAT Artem (ISR)

| No.              | 技名                     | 2022年版 |     |      | 2025年版 |     |      |
|------------------|------------------------|--------|-----|------|--------|-----|------|
|                  |                        | 難度     | Grp | Con. | 難度     | Grp | Con. |
| 1                | 後方伸身2回宙返り1回ひねり         | F      | III |      | F      | III |      |
| 2                | 前方伸身宙返り1回ひねり           | C      | II  |      | C      | IV  |      |
| 3                | 前方屈身2回宙返り              | E      | II  | 0.1  | E      | IV  |      |
| 4                | 後方伸身宙返り5/2ひねり          | D      | III |      | D      | II  |      |
| 5                | 前方かかえ込み2回宙返り           | D      | II  | 0.2  | D      | IV  | 0.2  |
| 6                | 前方伸身宙返り2回ひねり           | D      | II  |      | D      | IV  |      |
| 7                | 前方伸身宙返り                | B      | II  | 0.1  | B      | II  |      |
| 8                | 後方かかえ込み2回宙返り2回ひねり      | E      | III |      | E      | III |      |
| 9                | フェドルチェンコ               | C      | I   |      | C      | I   |      |
| 10               | 後ろとびひねり前方かかえ込み2回宙返りひねり | D      | IV  |      | D      | III |      |
| 2025年版グループ価値点/ND |                        | I      | II  | III  | IV     | ND  |      |
|                  |                        | 0.5    | 0.5 | 0.5  | 0.5    | 0.6 |      |
| Dスコア             |                        | 6.4    |     |      | 5.7    |     |      |

## 3位.JARMAN Jake (GBR)

| No.              | 技名                             | 2022年版 |     |      | 2025年版 |     |      |
|------------------|--------------------------------|--------|-----|------|--------|-----|------|
|                  |                                | 難度     | Grp | Con. | 難度     | Grp | Con. |
| 1                | 後方伸身2回宙返り3回ひねり                 | H      | III |      | I      | III |      |
| 2                | 後方伸身宙返り5/2ひねり                  | D      | III |      | D      | IV  |      |
| 3                | 前方かかえ込み2回宙返り                   | D      | II  | 0.2  | D      | II  | 0.2  |
| 4                | 後方かかえ込み2回宙返り3回ひねり (3回ひねり・ジャンプ) | G      | III |      | G      | III |      |
| 5                | 後方伸身宙返り3回ひねり                   | D      | III |      | D      | IV  |      |
| 6                | フェドルチェンコ                       | C      | I   |      | C      | I   |      |
| 7                | 前後開脚座                          | A      | I   |      | A      | I   |      |
| 8                | 前方伸身宙返り1回ひねり                   | C      | II  |      | C      | IV  |      |
| 9                | 前方伸身宙返り5/2ひねり                  | D      | II  |      | E      | IV  |      |
| 10               | 後方伸身宙返り5/2ひねり                  | D      | IV  |      | E      | IV  |      |
| 11               |                                |        |     |      |        |     |      |
| 2025年版グループ価値点/ND |                                | I      | II  | III  | IV     | ND  |      |
|                  |                                | 0.5    | 0.5 | 0.5  | 0.5    | 0.9 |      |
| Dスコア             |                                | 6.6    |     |      | 6.3    |     |      |

## 4位.KOVTUN Illia (UKR)

| No.              | 技名            | 2022年版 |     |      | 2025年版 |     |      |
|------------------|---------------|--------|-----|------|--------|-----|------|
|                  |               | 難度     | Grp | Con. | 難度     | Grp | Con. |
| 1                | 前方伸身宙返り1回ひねり  | C      | II  |      | C      | IV  |      |
| 2                | 前方かかえ込み2回宙返り  | D      | II  | 0.1  | D      | II  |      |
| 3                | 前方倒立回転とび      |        |     |      | A      | II  |      |
| 4                | 前方伸身宙返り3回ひねり  | F      | II  |      | F      | IV  |      |
| 5                | 後方伸身宙返り7/2ひねり | E      | III |      | E      | IV  |      |
| 6                | 前方伸身宙返り5/2ひねり | E      | II  |      | E      | IV  |      |
| 7                | 後方伸身宙返り5/2ひねり | D      | III |      | D      | IV  |      |
| 8                | 前方伸身宙返り       | B      | II  | 0.1  | B      | II  |      |
| 9                | シュビンデル・ゴゴラーゼ  | D      | I   |      | D      | I   |      |
| 10               | ゴゴラーゼ         | C      | I   |      | C      | I   |      |
| 11               | 後方伸身宙返り3回ひねり  | D      | IV  |      | D      | IV  |      |
| 2025年版グループ価値点/ND |               | I      | II  | III  | IV     | ND  |      |
|                  |               | 0.5    | 0.5 | 0.0  | 0.5    | 0.9 |      |
| Dスコア             |               | 6.2    |     |      | 4.6    |     |      |

## 5位.KARIMI Milad (KAZ)

| No.              | 技名                | 2022年版 |     |      | 2025年版 |     |      |
|------------------|-------------------|--------|-----|------|--------|-----|------|
|                  |                   | 難度     | Grp | Con. | 難度     | Grp | Con. |
| 1                | 前方伸身宙返り5/2ひねり     | E      | II  |      | E      | IV  |      |
| 2                | 前方伸身宙返り1回ひねり      | C      | II  |      | C      | IV  |      |
| 3                | 前方屈身2回宙返り         | E      | II  | 0.1  | E      | II  |      |
| 4                | 後方伸身宙返り5/2ひねり     | D      | III |      | D      | IV  |      |
| 5                | 前方かかえ込み2回宙返り      | D      | II  | 0.2  | D      | II  | 0.2  |
| 6                | 後方かかえ込み2回宙返り2回ひねり | E      | III |      | E      | III |      |
| 7                | 後方伸身宙返り2回ひねり      | C      | III |      | C      | IV  |      |
| 8                | 開脚座から伸腕屈身力十字倒立    | C      | I   |      | C      | I   |      |
| 9                | 前方伸身宙返り2回ひねり      | D      | II  |      | D      | IV  |      |
| 10               | 前方かかえ込み宙返りひねり     |        |     |      |        |     |      |
| 11               | 後方伸身宙返り3回ひねり      | D      | IV  |      | D      | IV  |      |
| 2025年版グループ価値点／ND |                   | I      | II  | III  | IV     | ND  |      |
|                  |                   | 0.5    | 0.5 | 0.5  | 0.5    | 0.9 |      |
| Dスコア             |                   | 6.3    |     |      | 5.6    |     |      |

## 6位.WHITEHOUSE Luke (GBR)

| No.              | 技名                | 2022年版 |     |      | 2025年版 |     |      |
|------------------|-------------------|--------|-----|------|--------|-----|------|
|                  |                   | 難度     | Grp | Con. | 難度     | Grp | Con. |
| 1                | 後方かかえ込み3回宙返り      | H      | III |      | I      | III |      |
| 2                | 前方伸身宙返り2回ひねり      | D      | II  |      | D      | II  |      |
| 3                | 前方かかえ込み2回宙返り      | D      | II  | 0.2  | D      | II  | 0.2  |
| 4                | 前方屈身2回宙返り         | E      | II  |      | E      | II  |      |
| 5                | 後方伸身宙返り2回ひねり      | C      | III |      | C      | IV  |      |
| 6                | 前後開脚座             | A      | I   |      | A      | I   |      |
| 7                | 開脚座から伸腕屈身力十字倒立    | C      | I   |      | C      | I   |      |
| 8                | 後方かかえ込み2回宙返り2回ひねり | E      | III |      | E      | III |      |
| 9                | 後方伸身宙返り5/2ひねり     | D      | III |      | D      | IV  |      |
| 10               | 前方伸身宙返り           | B      | II  | 0.1  | B      | II  |      |
| 11               | 後方伸身宙返り3回ひねり      | D      | IV  |      | D      | IV  |      |
| 2025年版グループ価値点/ND |                   | I      | II  | III  | IV     | ND  |      |
|                  |                   | 0.5    | 0.5 | 0.5  | 0.5    | 0.9 |      |
| Dスコア             |                   | 6.3    |     |      | 6.0    |     |      |

## 7位.ZAPATA Rayderley (ESP)

| No.              | 技名                     | 2022年版 |     |      | 2025年版 |     |      |
|------------------|------------------------|--------|-----|------|--------|-----|------|
|                  |                        | 難度     | Grp | Con. | 難度     | Grp | Con. |
| 1                | 後方伸身宙返り5/2ひねり          | D      | III |      | D      | IV  |      |
| 2                | 前方かかえ込み2回宙返り           | D      | II  | 0.2  | D      | II  | 0.2  |
| 3                | 後方伸身宙返り3/2ひねり          | C      | III |      | C      | IV  |      |
| 4                | 前方屈身2回宙返り              | E      | II  | 大過失  | E      | II  |      |
| 5                | 後方伸身2回宙返り2回ひねり         | F      | III |      | G      | III |      |
| 6                | 前方伸身宙返り2回ひねり           | D      | II  |      | D      | IV  |      |
| 7                | 前方伸身宙返り                | B      | II  | 0.1  | B      | II  |      |
| 8                | 開脚座から伸腕屈身力十字倒立         | C      | I   |      | C      | I   |      |
| 9                | 後ろとびひねり前方かかえ込み2回宙返りひねり | D      | III |      | D      | III |      |
| 10               | 後方伸身2回宙返り              | D      | IV  |      | E      | III |      |
|                  |                        |        |     |      |        |     |      |
| 2025年版グループ価値点/ND |                        | I      | II  | III  | IV     | ND  |      |
|                  |                        | 0.5    | 0.5 | 0.5  | 0.5    | 0.6 |      |
| Dスコア             |                        | 6.2    |     |      | 5.8    |     |      |

## 8位.ZHANG Boheng (CHN)

| No.              | 技名             | 2022年版 |     |      | 2025年版 |     |      |
|------------------|----------------|--------|-----|------|--------|-----|------|
|                  |                | 難度     | Grp | Con. | 難度     | Grp | Con. |
| 1                | 前方伸身宙返り2回ひねり   | D      | II  |      | D      | IV  |      |
| 2                | 前方屈身2回宙返り      | E      | II  | 0.2  | E      | II  | 0.2  |
| 3                | 後方伸身宙返り7/2ひねり  | E      | III |      | E      | IV  |      |
| 4                | 前方かかえ込み宙返りひねり  |        |     |      |        |     |      |
| 5                | 前方伸身宙返り5/2ひねり  | E      | II  |      | E      | IV  |      |
| 6                | 後方伸身宙返り2回ひねり   | C      | III |      | C      | IV  |      |
| 7                | 後方伸身宙返り5/2ひねり  | D      | III |      | D      | IV  |      |
| 8                | 前方伸身宙返り        | B      | II  | 0.1  | B      | II  |      |
| 9                | フェドルチェンコ       | C      | I   |      | C      | I   |      |
| 10               | 開脚座から伸腕屈身力十字倒立 | C      | I   |      | C      | I   |      |
| 11               | 後方伸身宙返り4回ひねり   | D      | IV  |      | D      | IV  |      |
| 2025年版グループ価値点/ND |                | I      | II  | III  | IV     | ND  |      |
|                  |                | 0.5    | 0.5 | 0.0  | 0.5    | 0.9 |      |
| Dスコア             |                | 6.1    |     |      |        | 4.8 |      |

対角線の制限を検討する際、2022年版ルールで多く見られた対角線3回利用後にサイドラインで後方伸身宙返り2回ひねり（C難度）を実施する構成は、Dスコアを高めるためには工夫の余地があると考えられる。YULO Carlos Edriel選手（PHI）やJARMAN選手はサイドラインで後方伸身宙返り3回ひねりを実施しており、他には、ZAPATA選手やKOVTON選手は体操的な動きでも一方の対角線のコーナーにスムーズに移動し、その先で高難度の技を実施する、もしくはグループIの技を実施するという構成をしている。これらは今後の演技構成を検討する上で参考になるであろう。

片足平均立ちを必須としていた数十年前の演技では、最終タンブリング前に実施することが通例であったが、これにこだわる必要はない。演技後半で体力も浪費している中、片足でバランスすることにより、よろける、静止時間の不足などで減点を多く科せられるのを回避することを検討することも必要であろう。

## 2.2 あん馬

種目別決勝出場者の演技構成では、僅かにC難度が存在するものの、ほとんどがD難度以上の技で構成されている。そのため、8技でカウントする場合、D難度を2技削除したと仮定すれば、0.8の数値低下となる。また、終末技をD難度で実施していた場合、グループ点が0.4となり、2022年版までのグループ点から0.1低くなるため、合計0.8から0.9の数値低下となる。実際に8名の演技をみると、その他の特別な不認定が生じていない場合、おおよそ想定される数値になっている。その中で、交差倒立技群の捌きに対しての追加条件に抵触し、不認定となりグループIの加点が得られない実施が3演技でみられる。これらは今後対処することで解決は図られると思われる。

あん馬特有の繰り返し条項に抵触した演技は7演技。うち6演技でウ・グォニアンとロスが実施され、ロスが削除されるパターンであった。ただし、これまでの演技構成から2技を省くとなると、上位陣の演技構成ではロスがその対象になる可能性が高くなると予想される。

8演技のうち、グループIでD難度、その他を終末技までE難度の技で構成した場合、5.9となる。この数値を基準として考え、これにベルトンチェリやダビチャンからのフロップやコンバインでF難度以上を成立させるか、ブスナリを取り入れる策を講じることで6.0を超えることが可能となる。

8演技の中ではWHITLOCK Max選手（GBR）が6.1、それに次いで杉野正克選手（JPN）が5.8である。杉野選手の終末技をE難度にした場合、0.2の数値上昇が見込まれ6.0となるが、世界のトップ争いは6.0を超える数値が一つの目安であると考えられる。

表 20-1 パリオリンピック種目別決勝 あん馬演技構成

| 1位.Mc CLENAGHAN Rhys (IRL) |                                               |        |     |        |     | 2位.KURBANOV Nariman (KAZ) |                               |        |     |        |        |
|----------------------------|-----------------------------------------------|--------|-----|--------|-----|---------------------------|-------------------------------|--------|-----|--------|--------|
| No.                        | 技名                                            | 2022年版 |     | 2025年版 |     | No.                       | 技名                            | 2022年版 |     | 2025年版 |        |
|                            |                                               | 難度     | Grp | 難度     | Grp |                           |                               | 難度     | Grp | 難度     | Grp    |
| 1                          | 逆交差1/4ひねり一把手上倒立経過、下ろして開脚支持<br>倒立から下ろす捌き：正交差入れ | C      | I   |        | 不認定 | 1                         | 正交差横移動ひねり逆交差入れ(馬端～馬端)(以下ミラック) | D      | I   | D      | I      |
| 2                          | Gコンバイン                                        | G      | II  | G      | II  | 2                         | 馬端馬背支持から下向き正転向移動(以下トシフェイ)     | D      | III | D      | III    |
| 3                          | Eフロップ                                         | E      | II  | E      | II  | 3                         | 縦向き前移動(両把手を越えて馬端～馬端)          | E      | III | E      | III    |
| 4                          | あん馬馬背下向き(ロシアン)1080°転向                         | E      | II  | E      | II  | 4                         | 縦向き後ろ移動(両把手を越えて馬端～馬端)クルバノフ    | E      | III | E      | III    |
| 5                          | マジヤール移動                                       | D      | III | D      | III | 5                         | 両把手を越えて縦向き3/3移動ひねり(以下ニンレイズ2)  | E      | III | E      | III    |
| 6                          | シバド移動                                         | D      | III | D      | III | 6                         | 一把手を越えて縦(横)向き3/3移動(ニンレイズ)     | D      | III |        | 繰り返し拒絶 |
| 7                          | ロシアン720°(以上)転向移動(以下ウ・グォニアン)                   | E      | III | E      | III | 7                         | Eコンバイン                        | E      | II  | E      | II     |
| 8                          | ロシアン360°転向移動(3/3部分)(以下ロス)                     | D      | III | D      | III | 8                         | 一腕上上向き全転向(以下ショーン)             | E      | II  | E      | II     |
| 9                          | 馬端馬背ロシアン1080°転向                               | D      | II  | C      | II  | 9                         | フフロップ                         | F      | II  | F      | II     |
| 10                         | DSA倒立450°ひねり3/3移動下り                           | E      | IV  | E      | IV  | 10                        | 一把手上縦向き旋回倒立3/3移動下り            | D      | IV  | D      | IV     |
| 2025年版グループ価値点              |                                               | I      | II  | III    | IV  | 2025年版グループ価値点             |                               | I      | II  | III    | IV     |
|                            |                                               | 0.0    | 0.5 | 0.5    | 0.5 |                           |                               | 0.5    | 0.5 | 0.5    | 0.4    |
| Dスコア                       |                                               | 6.6    | 5.3 |        |     | Dスコア                      |                               | 6.7    | 5.8 |        |        |

表 20-2 パリオリンピック種目別決勝 あん馬演技構成

## 3位.NEDOROSCIK Stephen (USA)

| No.           | 技名                 | 2022年版 |     | 2025年版 |     |
|---------------|--------------------|--------|-----|--------|-----|
|               |                    | 難度     | Grp | 難度     | Grp |
| 1             | ミクラック              | D      | I   | D      | I   |
| 2             | Eコンバイン             | E      | II  | E      | II  |
| 3             | ショーン               | E      | II  | D      | II  |
| 4             | 一腕上下向き全転向(ベズコ)     | E      | II  | E      | II  |
| 5             | Eフロップ              | E      | II  | E      | II  |
| 6             | ウ・グオニアン            | E      | III | E      | III |
| 7             | 馬端馬背ロシアン720°転向     | C      | II  | B      | II  |
| 8             | マジヤール移動            | D      | III | D      | III |
| 9             | シバド移動              | D      | III | D      | III |
| 10            | 一把手上縦向き旋回倒立3/3移動下り | D      | IV  | D      | IV  |
| 2025年版グループ価値点 |                    | I      | II  | III    | IV  |
| Dスコア          |                    | 0.5    | 0.5 | 0.5    | 0.4 |
|               |                    | 6.4    |     | 5.5    |     |

## 4位.WHITLOCK Max (GBR)

| No.           | 技名                    | 2022年版 |     | 2025年版 |     |
|---------------|-----------------------|--------|-----|--------|-----|
|               |                       | 難度     | Grp | 難度     | Grp |
| 1             | 正交差倒立(リーニン)           | D      | I   | D      | I   |
| 2             | Gコンバイン                | G      | II  | G      | II  |
| 3             | あん部馬背下向き(ロシアン)1080°転向 | E      | II  | E      | II  |
| 4             | Eフロップ                 | E      | II  | E      | II  |
| 5             | フズナリ                  | F      | II  | F      | II  |
| 6             | 1回の旋回で横移動(両把手を越えて)    | D      | III | D      | III |
| 7             | ロス                    | D      | III | 繰り返し抵触 |     |
| 8             | ウ・グオニアン               | E      | III | E      | III |
| 9             | 馬端馬背ロシアン1080°転向       | D      | II  | C      | II  |
| 10            | DSA倒立450°ひねり3/3移動下り   | E      | IV  | E      | IV  |
| 2025年版グループ価値点 |                       | I      | II  | III    | IV  |
| Dスコア          |                       | 0.5    | 0.5 | 0.5    | 0.5 |
|               |                       | 6.9    |     | 6.1    |     |

## 5位.VERNIAIEV Oleg (UKR)

| No.           | 技名                    | 2022年版 |     | 2025年版 |     |
|---------------|-----------------------|--------|-----|--------|-----|
|               |                       | 難度     | Grp | 難度     | Grp |
| 1             | 正交差倒立(リーニン)           | D      | I   | D      | I   |
| 2             | ショーン                  | E      | II  | D      | II  |
| 3             | Fフロップ                 | F      | II  | F      | II  |
| 4             | Eコンバイン                | E      | II  | E      | II  |
| 5             | あん部馬背下向き(ロシアン)1080°転向 | E      | II  | E      | II  |
| 6             | シバド移動                 | D      | III | D      | III |
| 7             | ウ・グオニアン               | E      | III | E      | III |
| 8             | ロス                    | D      | III | くり返し抵触 |     |
| 9             | 馬端馬背ロシアン1080°転向       | D      | II  | C      | II  |
| 10            | DSA倒立450°ひねり3/3移動下り   | D      | IV  | D      | IV  |
| 2025年版グループ価値点 |                       | I      | II  | III    | IV  |
| Dスコア          |                       | 0.5    | 0.5 | 0.5    | 0.4 |
|               |                       | 6.6    |     | 5.6    |     |

## 6位.杉野正堯 (JPN)

| No.           | 技名                        | 2022年版 |     | 2025年版 |     |
|---------------|---------------------------|--------|-----|--------|-----|
|               |                           | 難度     | Grp | 難度     | Grp |
| 1             | ミクラック                     | D      | I   | D      | I   |
| 2             | ウ・グオニアン                   | E      | III | E      | III |
| 3             | 縦向き前移動(両把手を越えて馬端～馬端)      | E      | III | E      | III |
| 4             | シバド移動                     | D      | III | D      | III |
| 5             | Eフロップ                     | E      | II  | E      | II  |
| 6             | Hコンバイン                    | H      | II  | H      | II  |
| 7             | ショーン                      | E      | II  | D      | II  |
| 8             | モギルニー(最終正面支持 4-5のため、ウルジカ) | C      | III |        |     |
|               | 2025年版 最終正面支持 4-5のため、不認定  |        |     |        | 不認定 |
| 9             | ロス                        | D      | III | くり返し抵触 |     |
| 10            | DSA倒立3/3移動下り              | D      | IV  | D      | IV  |
| 2025年版グループ価値点 |                           | I      | II  | III    | IV  |
| Dスコア          |                           | 0.5    | 0.5 | 0.5    | 0.4 |
|               |                           | 6.7    |     | 5.8    |     |

## 7位.HUR Woong (KOR)

| No.           | 技名                              | 2022年版 |     | 2025年版 |     |
|---------------|---------------------------------|--------|-----|--------|-----|
|               |                                 | 難度     | Grp | 難度     | Grp |
| 1             | 正交差倒立(リーニン)<br>倒立から下ろす捌き: 正交差入れ | D      | I   |        | 不認定 |
| 2             | Eコンバイン                          | E      | II  | E      | II  |
| 3             | ショーン                            | E      | II  | D      | II  |
| 4             | Eフロップ                           | E      | II  | E      | II  |
| 5             | ニンレイズ2                          | E      | III | E      | III |
| 6             | 縦向き前移動(両把手を越えて馬端～馬端)            | E      | III | E      | III |
| 7             | シバド移動                           | D      | III | D      | III |
| 8             | ウ・グオニアン                         | E      | III | E      | III |
| 9             | ロス                              | D      | III | くり返し抵触 |     |
| 10            | DSA倒立450°ひねり3/3移動下り             | E      | IV  | E      | IV  |
| 2025年版グループ価値点 |                                 | I      | II  | III    | IV  |
| Dスコア          |                                 | 0.0    | 0.5 | 0.5    | 0.5 |
|               |                                 | 6.7    |     | 5.3    |     |

## 8位.de MUNCK Loran (NED)

| No.           | 技名                                             | 2022年版 |     | 2025年版 |     |
|---------------|------------------------------------------------|--------|-----|--------|-----|
|               |                                                | 難度     | Grp | 難度     | Grp |
| 1             | 逆交差1/4ひねり一把手上倒立経過、下ろして開脚支持<br>倒立から下ろす捌き: 正交差入れ | C      | I   |        |     |
| 2             | ショーン                                           | E      | II  | D      | II  |
| 3             | Fコンバイン                                         | F      | II  | F      | II  |
| 4             | あん部馬背下向き(ロシアン)1080°転向                          | E      | II  | E      | II  |
| 5             | Eフロップ                                          | E      | II  | E      | II  |
| 6             | ウ・グオニアン                                        | E      | III | E      | III |
| 7             | ロス                                             | D      | III | くり返し抵触 |     |
| 8             | マジヤール移動                                        | D      | III | D      | III |
| 9             | シバド移動                                          | D      | III | D      | III |
| 10            | 一把手上縦向き旋回倒立3/3移動下り                             | D      | IV  | D      | IV  |
| 2025年版グループ価値点 |                                                | I      | II  | III    | IV  |
| Dスコア          |                                                | 0.0    | 0.5 | 0.5    | 0.4 |
|               |                                                | 6.5    |     | 5.1    |     |

## 2.3 つり輪

つり輪では前方屈身2回宙返り懸垂(以下ジョナサン)が8名全ての演技で、前方かかえ込み2回宙返り懸垂(以下ヤマワキ)はDAVTYAN Artur選手(ARM)を除く7名の演技に含まれている。このふたつはそれぞれ難度が一段落格下げとなったため、2025年版で算出するために10技から2技を省く際にはその対象になりやすい。ただし、いずれも演技のひとつめから2または3連続でグループIIとIIIの技を実施した後に、3回を超える連続の制限に抵触しないよう、ジョナサンやヤマワキを実施している演技構成となっている。

ここで、対象の8演技に新ルールを適用した場合、2位のZOU Jingyuan選手（CHN）と5位のASIL Adem（TUR）の演技で、混迷する現象が生じている。

Dスコアの算出では選手に有利になるように高い難度から選択、難度が同価値の場合はグループ数を考慮し有利に取捨選択をする。これに加え、つり輪では特有の減点として存在する「演技には1つの振動倒立技（2秒静止）が含まれていなければならない」（含まれない場合0.3減点）を念頭に、振動倒立技を選択する必要がある。しかし、これを進めるとジョナサン（C難度）が8技に含まれないことになり、ジョナサン以降の技が、グループⅡとⅢの連続の制限に抵触し、カウントされない状況に陥る。そのため、あえて後半で実施している同価値（C難度）の振動倒立技を除外し、ジョナサンを選択しなければならない。結果、0.3のニュートラルディダクションが科せられるが、Dスコアは高く残ることになる。

上述のことから、演技構成を構築する上では、1技目から3技目を高難度のグループⅡもしくはⅢの技、4技目にジョナサン（C難度）、もしくは振動倒立、5技目から6技目にグループⅡもしくはⅢの技、その後、4技目にジョナサンを実施した場合は振動倒立技、振動倒立技を実施している選手はもうひとつ力静止技をいれるか、終末技に備えて、別の振動倒立を実施。最後8技目で終末技という構成になることがひとつのモデルケースになると予想される。

このような演技構成の構築が多くの選手でなされた場合、得点の差は、Eスコアでの演技の質に比重が傾いていく。審判員の採点が重要となってくるのは間違いないだろう。

表 21-1 バリオリンピック種目別決勝 つり輪演技構成

| 1位.LIU Yang (CHN) |                         |              |               |              | 2位.ZOU Jingyuan (CHN) |               |                                 |              |               |
|-------------------|-------------------------|--------------|---------------|--------------|-----------------------|---------------|---------------------------------|--------------|---------------|
| No.               | 技名                      | 2022年版<br>難度 | 2025年版<br>Grp | 2025年版<br>難度 | 2025年版<br>Grp         | No.           | 技名                              | 2022年版<br>難度 | 2025年版<br>Grp |
| 1                 | 懸垂から伸腕伸身十字倒立(以下バランディン2) | F            | Ⅱ             | G            | Ⅱ                     | 1             | 後方伸腕伸身逆上がり中水平支持                 | E            | Ⅱ             |
| 2                 | 後ろ振り上がりの十字倒立            | E            | Ⅲ             | E            | Ⅲ                     | 2             | 後ろ振り上がりの十字倒立                    | E            | Ⅲ             |
| 3                 | 前方屈身2回宙返り懸垂(以下ジョナサン)    | D            | Ⅰ             | C            | Ⅰ                     | 3             | 十字倒立からぶつくり下ろして逆懸垂経過伸腕伸身逆上がり十字懸垂 | E            | Ⅱ             |
| 4                 | ホンマ十字懸垂                 | D            | Ⅲ             | D            | Ⅲ                     | 4             | ジョナサン                           | D            | Ⅰ             |
| 5                 | 十字懸垂から伸腕伸身中水平支持         | E            | Ⅱ             | E            | Ⅱ                     | 5             | ヤマワキ                            | C            | Ⅰ             |
| 6                 | 前方かめえ込み2回宙返り懸垂(以下ヤマワキ)  | C            | Ⅰ             | B            | Ⅰ                     | 6             | 後ろ振り上がりの中水平支持                   | E            | Ⅲ             |
| 7                 | 後ろ振り上がりの中水平支持           | E            | Ⅲ             | E            | Ⅲ                     | 7             | ホンマ十字懸垂                         | D            | Ⅲ             |
| 8                 | 背面水平懸垂経過十字懸垂(以下ナカヤマ)    | D            | Ⅱ             | D            | Ⅱ                     | 8             | 十字懸垂から伸腕伸身中水平支持                 | E            | Ⅱ             |
| 9                 | 後ろ振り上がりの倒立              | C            | Ⅰ             | C            | Ⅰ                     | 9             | 後ろ振り上がりの倒立                      | C            | Ⅰ             |
| 10                | 後方かめえ込み2回宙返り2回ひねり下り     | E            | Ⅳ             | E            | Ⅳ                     | 10            | 後方かめえ込み2回宙返り2回ひねり下り             | E            | Ⅳ             |
| 2025年版グループ価値点     |                         | Ⅰ            | Ⅱ             | Ⅲ            | Ⅳ                     | 2025年版グループ価値点 |                                 | Ⅰ            | Ⅱ             |
| ND                |                         | 0.0          | 0.0           | 0.5          | 0.5                   | ND            |                                 | 0.0          | 0.3           |
| Dスコア              |                         | 6.4          | 5.8           | 6.4          | 5.6                   | Dスコア          |                                 | 6.4          | 5.6           |

  

| 3位. PETROUNIAS Eleftherios (GRE) |                     |              |               |              | 4位. AIT SAID Samir (FRA) |               |                   |              |               |
|----------------------------------|---------------------|--------------|---------------|--------------|--------------------------|---------------|-------------------|--------------|---------------|
| No.                              | 技名                  | 2022年版<br>難度 | 2025年版<br>Grp | 2025年版<br>難度 | 2025年版<br>Grp            | No.           | 技名                | 2022年版<br>難度 | 2025年版<br>Grp |
| 1                                | 後方伸腕伸身逆上がり中水平支持     | E            | Ⅱ             | E            | Ⅱ                        | 1             | 後方伸腕伸身逆上がり中水平支持   | E            | Ⅱ             |
| 2                                | 背面水平懸垂              | A            | Ⅱ             | A            | Ⅱ                        | 2             | 背面水平懸垂            | A            | Ⅱ             |
| 3                                | 背面水平懸垂から引き上げ中水平支持   | F            | Ⅱ             | F            | Ⅱ                        | 3             | 背面水平懸垂から引き上げ中水平支持 | F            | Ⅱ             |
| 4                                | ジョナサン               | D            | Ⅰ             | C            | Ⅰ                        | 4             | 後ろ振り上がりの倒立        | C            | Ⅰ             |
| 5                                | ホンマ十字懸垂             | D            | Ⅲ             | D            | Ⅲ                        | 5             | ヤマワキ              | C            | Ⅰ             |
| 6                                | 後ろ振り上がりの中水平支持       | E            | Ⅲ             | E            | Ⅲ                        | 6             | ジョナサン             | D            | Ⅰ             |
| 7                                | ほん転逆上がり倒立           | C            | Ⅰ             | C            | Ⅰ                        | 7             | 後ろ振り上がりの中水平支持     | E            | Ⅲ             |
| 8                                | 後ろ振り上がりの水平支持        | D            | Ⅲ             | D            | Ⅲ                        | 8             | ナカヤマ              | D            | Ⅱ             |
| 9                                | ナカヤマ                | D            | Ⅱ             | D            | Ⅱ                        | 9             | 後ろ振り上がりの水平支持      | D            | Ⅲ             |
| 10                               | 後ろ振り上がりの倒立          | C            | Ⅰ             | C            | Ⅰ                        | 10            | ほん転逆上がり倒立         | C            | Ⅰ             |
| 11                               | 後方かめえ込み2回宙返り2回ひねり下り | E            | Ⅳ             | E            | Ⅳ                        | 11            | 後方伸身2回宙返り1回ひねり下り  | D            | Ⅳ             |
| 2025年版グループ価値点                    |                     | Ⅰ            | Ⅱ             | Ⅲ            | Ⅳ                        | 2025年版グループ価値点 |                   | Ⅰ            | Ⅱ             |
| ND                               |                     | 0.0          | 0.0           | 0.5          | 0.5                      | ND            |                   | 0.0          | 0.0           |
| Dスコア                             |                     | 6.3          | 5.5           | 6.1          | 5.3                      | Dスコア          |                   | 6.1          | 5.3           |

表 21-2 パリオリンピック種目別決勝 つり輪演技構成

5位.ASIL Adem (TUR)

| No.           | 技名                      | 2022年版 |     | 2025年版 |     |
|---------------|-------------------------|--------|-----|--------|-----|
|               |                         | 難度     | Grp | 難度     | Grp |
| 1             | バランディン2                 | F      | II  | G      | II  |
| 2             | 懸垂から伸腕伸身水平支持(以下バランディン3) | E      | II  | E      | II  |
| 3             | 後方伸腕伸身逆上がり中水平支持         | E      | II  | E      | II  |
| 4             | ヤマワキ                    | C      | I   | B      | I   |
| 5             | ジョナサン                   | D      | I   | C      | I   |
| 6             | 後ろ振り上がり中水平支持            | E      | III | E      | III |
| 7             | 伸身逆上がり十字懸垂(以下アザリアン)     | D      | II  | D      | II  |
| 8             | 後ろ振り上がり水平支持             | D      | III | D      | III |
| 9             | 後ろ振り上がり倒立               | C      | I   | C      | I   |
| 10            | 後方かかえ込み2回宙返り2回ひねり下り     | E      | IV  | E      | IV  |
| 2025年版グループ価値点 |                         | I      | II  | III    | IV  |
| ND            |                         | 0.5    | 0.5 | 0.5    | 0.5 |
| Dスコア          |                         | 6.4    |     | 5.8    |     |

6位.DAVTYAN Artur (ARM)

| No.           | 技名               | 2022年版 |     | 2025年版 |     |
|---------------|------------------|--------|-----|--------|-----|
|               |                  | 難度     | Grp | 難度     | Grp |
| 1             | バランディン3          | E      | II  | E      | II  |
| 2             | 後ろ振り上がり十字懸垂      | C      | III | C      | III |
| 3             | 十字懸垂から伸腕伸身中水平支持  | E      | II  | E      | II  |
| 4             | 後ろ振り上がり倒立        | C      | I   | C      | I   |
| 5             | ジョナサン            | D      | I   | C      | I   |
| 6             | 後ろ振り上がり中水平支持     | E      | III | E      | III |
| 7             | ナカヤマ             | D      | II  | D      | II  |
| 8             | 後ろ振り上がり水平支持      | D      | III | D      | III |
| 9             | ほん転逆上がり倒立        | C      | I   | C      | I   |
| 10            | 後方伸身2回宙返り1回ひねり下り | D      | IV  | D      | IV  |
| 2025年版グループ価値点 |                  | I      | II  | III    | IV  |
| ND            |                  | 0.5    | 0.5 | 0.5    | 0.4 |
| Dスコア          |                  | 6.0    |     | 5.2    |     |

7位. HEPWORTH Harry (GBR)

| No.           | 技名                  | 2022年版 |     | 2025年版 |     |
|---------------|---------------------|--------|-----|--------|-----|
|               |                     | 難度     | Grp | 難度     | Grp |
| 1             | 後ろ振り上がり十字倒立         | E      | III | E      | III |
| 2             | 後ろ振り上がり十字懸垂         | C      | III | C      | III |
| 3             | 十字懸垂から伸腕伸身中水平支持     | E      | II  | E      | II  |
| 4             | ジョナサン               | D      | I   | C      | I   |
| 5             | 後ろ振り上がり中水平支持        | E      | III | E      | III |
| 6             | 後ろ振り上がり水平支持         | D      | III | D      | III |
| 7             | ナカヤマ                | D      | II  | D      | II  |
| 8             | ヤマワキ                | C      | I   | B      | I   |
| 9             | 後ろ振り上がり倒立           | C      | I   | C      | I   |
| 10            | 後方かかえ込み2回宙返り2回ひねり下り | E      | IV  | E      | IV  |
| 2025年版グループ価値点 |                     | I      | II  | III    | IV  |
| ND            |                     | 0.5    | 0.5 | 0.5    | 0.5 |
| Dスコア          |                     | 6.1    |     | 5.4    |     |

8位.CUYLE Glen (BEL)

| No.           | 技名                | 2022年版 |     | 2025年版 |     |
|---------------|-------------------|--------|-----|--------|-----|
|               |                   | 難度     | Grp | 難度     | Grp |
| 1             | 後ろ振り上がり水平支持       | D      | III | D      | III |
| 2             | 背面水平懸垂            | A      | II  | A      | II  |
| 3             | 背面水平懸垂から引き上げ中水平支持 | F      | II  | F      | II  |
| 4             | ヤマワキ              | C      | I   | B      | I   |
| 5             | ジョナサン             | D      | I   | C      | I   |
| 6             | ホンマ十字懸垂           | D      | III | D      | III |
| 7             | 後方け上がり中水平支持       | E      | III | E      | III |
| 8             | ナカヤマ              | D      | II  | D      | II  |
| 9             | 後ろ振り上がり倒立         | C      | I   | C      | I   |
| 10            | ほん転逆上がり倒立         | C      | I   | C      | I   |
| 11            | 後方かかえ込み3回宙返り下り    | G      | IV  | G      | IV  |
| 2025年版グループ価値点 |                   | I      | II  | III    | IV  |
| ND            |                   | 0.5    | 0.5 | 0.5    | 0.7 |
| Dスコア          |                   | 6.3    |     | 5.8    |     |

## 2.4 跳馬

跳馬では価値点の変更により、すべての跳越技で0.4の数値低下がみられている。グループ分けが再編されたことにより、唯一OLFATI Mahdi選手 (IRI) の1本目がグループIVからVに変更となっているが、2跳越が別グループの跳越技であるため、特に問題は生じていない。

新しい価値点を見ると、6名の選手が5.2以上の跳越技を2本揃えており、金メダルを獲得したYULO選手と4位のJARMAN選手は1本目で5.6の跳越技を実施している。

種目別決勝に進出するためには少なくとも価値点が5.2以上の技を2本用意する必要がある。

日本の強化方針としては、団体、個人総合を最優先している事情もあるため、高い価値点の1跳

表 22-1 パリオリンピック種目別決勝 跳馬演技構成

1位.YULO Carlos Edriel (PHI)

|   | 跳越技               | 2022年 | 2025年 | 新グループ |
|---|-------------------|-------|-------|-------|
| 1 | 屈身ドラグレスク(リ・セグアン2) | 6.0   | 5.6   | II    |
| 2 | 伸身カサマツ2回ひねり(ロベス)  | 5.6   | 5.2   | I     |

2位.DAVTYAN Artur (ARM)

|   | 跳越技                    | 2022年 | 2025年 | 新グループ |
|---|------------------------|-------|-------|-------|
| 1 | ローチェひねり(ドラグレスク)        | 5.6   | 5.2   | II    |
| 2 | 前転とび前方伸身宙返り5/2ひねり(ヨー2) | 5.6   | 5.2   | I     |

3位. HEPWORTH Harry (GBR)

|   | 跳越技                    | 2022年 | 2025年 | 新グループ |
|---|------------------------|-------|-------|-------|
| 1 | ローチェひねり(ドラグレスク)        | 5.6   | 5.2   | II    |
| 2 | 前転とび前方伸身宙返り5/2ひねり(ヨー2) | 5.6   | 5.2   | I     |

4位.JARMAN Jake (GBR)

|   | 跳越技                | 2022年 | 2025年 | 新グループ |
|---|--------------------|-------|-------|-------|
| 1 | 伸身カサマツ5/2ひねり(ヨネクラ) | 6.0   | 5.6   | I     |
| 2 | ローチェひねり(ドラグレスク)    | 5.6   | 5.2   | II    |

表 22-2 パリオリンピック種目別決勝 跳馬演技構成

5位.BENOVIC Aurel (CRO)

|   | 跳越技                    | 2022年 | 2025年 | 新グループ |
|---|------------------------|-------|-------|-------|
| 1 | ローチェひねり(ドラグレスク)        | 5.6   | 5.2   | II    |
| 2 | 前転とび前方伸身宙返り5/2ひねり(ヨー2) | 5.6   | 5.2   | I     |

6位.CHEPURNYI Nazar (UKR)

|   | 跳越技              | 2022年 | 2025年 | 新グループ |
|---|------------------|-------|-------|-------|
| 1 | ローチェひねり(ドラグレスク)  | 5.6   | 5.2   | II    |
| 2 | 伸身カサマツ2回ひねり(ロベス) | 5.6   | 5.2   | I     |

7位.OLFATI Mahdi (IRI)

|   | 跳越技                   | 2022年 | 2025年 | 新グループ |
|---|-----------------------|-------|-------|-------|
| 1 | ユルチェンコ後方屈身宙返り(ヤン・ウェイ) | 5.6   | 5.2   | IV→V  |
| 2 | 屈身ツカハラ後方屈身宙返り(ル・ユーフ)  | 5.6   | 5.2   | III   |

8位.RADIVILOV Igor (UKR)

|   | 跳越技                  | 2022年 | 2025年 | 新グループ |
|---|----------------------|-------|-------|-------|
| 1 | ローチェひねり(ドラグレスク)      | 5.6   | 5.2   | II    |
| 2 | 屈身ツカハラ後方屈身宙返り(ル・ユーフ) | 5.6   | 5.2   | III   |

越を安定して実施してくれることが絶対条件ではある。

現状、日本選手の多くはグループ I のひねり系の跳越技を実施しており、他のグループの跳越技の出現率は多くはない。

今後、世界大会での種目別でのメダル量産も視野に入れるならば、まずは日本の競技会でグループ II, III, IV, V の跳越技を実施する選手が増えていくことを期待したい。

## 2.5 平行棒

対象の8演技を2025年版採点規則で採点すると、3演技で新たに制限が設けられた「前振り上がりから倒立になる技は最大2回まで認められる」に抵触していた。いずれも E 難度の技のため、これらを得意としている選手にとっては痛手となる項目である。

新ルールによる D スコア算出では ZOU 選手が 6.1, KOVTUN Illia 選手 (UKR) が 6.0 と高い数値となっている。長年にわたり平行棒のチャンピオンとして君臨している ZOU 選手と優勝争いをするためには、D スコアを6点台にすることがひとつの目標数値になる。

ZOU 選手の演技構成上には2回宙返りから腕支持になる技はなく、仮にこれらの技を入れ込むことがあれば、さらに D スコアを高めることになる。ただし、今回の他の7名の選手も2回宙返りから腕支持になる技を実施していないが、これは身体への負担が大きいことと、腕支持で受ける際の身体の伸ばしやその後の捌きに対して減点の対象になりやすい項目が多いことなどを考慮すると、これらの技を得意とする選手でなければ、今後も取り入れることは熟考する必要がある。

今までは多くの演技で実施されていたヒーリーが1段階格下げとなったため、種目別決勝に進出するレベルの選手たちは、演技から外していくであろう。取り入れる場合は、シャルロからの連

表 23-1 パリオリンピック種目別決勝 平行棒演技構成

1位.ZOU Jingyuan (CHN)

| No.           | 技名                | 2022年版 |     | 2025年版 |     |
|---------------|-------------------|--------|-----|--------|-----|
|               |                   | 難度     | Grp | 難度     | Grp |
| 1             | ソラキディス            | G      | II  | G      | I   |
| 2             | マクーツ              | E      | I   | E      | II  |
| 3             | リチャード             | E      | II  | E      | I   |
| 4             | 棒下宙返りひねり倒立        | E      | III | E      | III |
| 5             | 棒下宙返り倒立           | D      | III | D      | III |
| 6             | ササキ               | E      | I   | E      | II  |
| 7             | バブサー              | E      | III | E      | III |
| 8             | チッペルト             | D      | III | D      | III |
| 9             | ヒーリー              | D      | I   | C      | II  |
| 10            | 前方かかえ込み2回宙返りひねり下り | E      | IV  | E      | IV  |
| 2025年版グループ価値点 |                   | I      | II  | III    | IV  |
| Dスコア          |                   | 0.5    | 0.5 | 0.5    | 0.5 |
|               |                   | 6.9    |     | 6.1    |     |

2位.KOVTUN Illia (UKR)

| No.           | 技名             | 2022年版 |     | 2025年版 |     |
|---------------|----------------|--------|-----|--------|-----|
|               |                | 難度     | Grp | 難度     | Grp |
| 1             | ソラキディス         | G      | II  | G      | I   |
| 2             | 棒下宙返りひねり倒立     | E      | III | E      | III |
| 3             | シャルロ           | E      | III | E      | III |
| 4             | 単棒ヒーリー         | E      | I   | D      | II  |
| 5             | リチャード          | E      | II  | E      | I   |
| 6             | 前振り上がりひねり倒立    | E      | II  | 同系繰り返し |     |
| 7             | ディアマッドフひねり     | D      | I   | D      | II  |
| 8             | マクーツ           | E      | I   | E      | II  |
| 9             | ヒーリー           | D      | I   | C      | II  |
| 10            | 前方かかえ込み2回宙返り下り | E      | IV  | E      | IV  |
| 2025年版グループ価値点 |                | I      | II  | III    | IV  |
| Dスコア          |                | 0.5    | 0.5 | 0.5    | 0.5 |
|               |                | 7.0    |     | 6.0    |     |

表 23-2 パリオリンピック種目別決勝 平行棒演技構成

## 3位.岡 慎之助(JPN)

| No.           | 技名                | 2022年版 |     | 2025年版 |     |
|---------------|-------------------|--------|-----|--------|-----|
|               |                   | 難度     | Grp | 難度     | Grp |
| 1             | 後ろ振り上がり前方屈身宙返り支持  | D      | II  | D      | I   |
| 2             | 棒下宙返りひねり倒立        | E      | III | E      | III |
| 3             | 棒下宙返り倒立           | D      | III | D      | III |
| 4             | 車輪ディアミドフ          | E      | III | E      | III |
| 5             | マクーツ              | E      | I   | E      | II  |
| 6             | ヒーリー              | D      | I   | C      | II  |
| 7             | 前方開脚宙返り抜き腕支持      | D      | I   | D      | II  |
| 8             | バブサー              | E      | III | E      | III |
| 9             | チツベルト             | D      | III | D      | III |
| 10            | 前方かかえ込み2回宙返りひねり下り | E      | IV  | E      | IV  |
| 2025年版グループ価値点 |                   | I      | II  | III    | IV  |
| Dスコア          |                   | 0.5    | 0.5 | 0.5    | 0.5 |
|               |                   | 6.5    |     | 5.7    |     |

## 4位.ZHANG Boheng (CHN)

| No.           | 技名                | 2022年版 |     | 2025年版 |     |
|---------------|-------------------|--------|-----|--------|-----|
|               |                   | 難度     | Grp | 難度     | Grp |
| 1             | シャルロ              | E      | III | E      | III |
| 2             | 単棒ヒーリー            | E      | I   | D      | II  |
| 3             | リチャード             | E      | II  | E      | I   |
| 4             | 後方車輪倒立            | C      | III | C      | III |
| 5             | 棒下宙返り倒立           | D      | III | D      | III |
| 6             | 前方開脚宙返り抜き腕支持      | D      | I   | D      | II  |
| 7             | バブサー              | E      | III | E      | III |
| 8             | ティツベルト            | D      | III | D      | III |
| 9             | ヒーリー              | D      | I   | C      | II  |
| 10            | 前方かかえ込み2回宙返りひねり下り | E      | IV  | E      | IV  |
| 2025年版グループ価値点 |                   | I      | II  | III    | IV  |
| Dスコア          |                   | 0.5    | 0.5 | 0.5    | 0.5 |
|               |                   | 6.4    |     | 5.6    |     |

## 5位.ARICAN Ferhat(TUR)

| No.           | 技名                | 2022年版 |     | 2025年版 |     |
|---------------|-------------------|--------|-----|--------|-----|
|               |                   | 難度     | Grp | 難度     | Grp |
| 1             | ソラキディアス           | G      | II  | G      | I   |
| 2             | リチャード             | E      | II  | E      | I   |
| 3             | 前振り上がりひねり倒立       | E      | II  | 同系繰り返し |     |
| 4             | シャルロ              | E      | III | E      | III |
| 5             | 単棒ヒーリー            | E      | I   | D      | II  |
| 6             | 棒下宙返りひねり倒立        | E      | III | E      | III |
| 7             | マクーツ              | E      | I   | E      | II  |
| 8             | ヒーリー              | D      | I   | C      | II  |
| 9             | 前振りひねり倒立          | C      | I   | C      | II  |
| 10            | 前方かかえ込み2回宙返りひねり下り | E      | IV  | E      | IV  |
| 2025年版グループ価値点 |                   | I      | II  | III    | IV  |
| Dスコア          |                   | 0.5    | 0.5 | 0.5    | 0.5 |
|               |                   | 6.9    |     | 5.9    |     |

## 6位.谷川 航(JPN)

| No.           | 技名                | 2022年版 |     | 2025年版 |     |
|---------------|-------------------|--------|-----|--------|-----|
|               |                   | 難度     | Grp | 難度     | Grp |
| 1             | 後ろ振り上がり前方屈身宙返り支持  | D      | II  | D      | I   |
| 2             | ヒーリー              | D      | I   | C      | II  |
| 3             | 前振り上がりひねり倒立       | E      | II  | E      | I   |
| 4             | 棒下宙返りひねり倒立        | E      | III | E      | III |
| 5             | 棒下宙返り倒立           | D      | III | D      | III |
| 6             | モイ                | C      | III | C      | III |
| 7             | バブサー              | E      | III | E      | III |
| 8             | ティツベルト            | D      | III | D      | III |
| 9             | 前方開脚宙返り抜き腕支持      | D      | I   | D      | II  |
| 10            | 前方かかえ込み2回宙返りひねり下り | E      | IV  | E      | IV  |
| 2025年版グループ価値点 |                   | I      | II  | III    | IV  |
| Dスコア          |                   | 0.5    | 0.5 | 0.5    | 0.5 |
|               |                   | 6.3    |     | 5.6    |     |

7位.DAUSER Lukas(GER)<sup>※1</sup>

| No.           | 技名                           | 2022年版 |     | 2025年版 |     |
|---------------|------------------------------|--------|-----|--------|-----|
|               |                              | 難度     | Grp | 難度     | Grp |
| 1             | 棒下宙返りひねり倒立 (2022年版1/4ひねりで判定) | E      | III | E      | III |
| 2             | 棒下宙返り倒立                      | D      | III | D      | III |
| 3             | ソラキディアス                      | G      | II  | G      | I   |
| 4             | リチャード                        | E      | II  | E      | I   |
| 5             | 前振り上がりひねり倒立                  | E      | II  | 同系繰り返し |     |
| 6             | マクーツ                         | E      | I   | E      | II  |
| 7             | ヒーリー                         | D      | I   | C      | II  |
| 8             | ディアミドフ                       | C      | I   | C      | II  |
| 9             | 前振りひねり倒立                     | C      | I   | C      | II  |
| 10            | 前方かかえ込み2回宙返りひねり下り            | E      | IV  | E      | IV  |
| 2025年版グループ価値点 |                              | I      | II  | III    | IV  |
| Dスコア          |                              | 0.5    | 0.5 | 0.5    | 0.5 |
|               |                              | 6.6    |     | 5.7    |     |

※1 種目別決勝では大過失があったため予選の演技を採用

8位.VERNIAIEV Oleg(UKR)<sup>※2</sup>

| No.           | 技名                | 2022年版 |     | 2025年版 |     |
|---------------|-------------------|--------|-----|--------|-----|
|               |                   | 難度     | Grp | 難度     | Grp |
| 1             | 後ろ振り上がり前方屈身宙返り支持  | D      | II  | D      | I   |
| 2             | 棒下宙返りひねり倒立        | E      | III | E      | III |
| 3             | シャルロ              | E      | III | E      | III |
| 4             | 単棒ヒーリー            | E      | I   | D      | II  |
| 5             | マクーツ              | E      | I   | E      | II  |
| 6             | ティツベルト            | D      | III | D      | III |
| 7             | バブサー              | E      | III | E      | III |
| 8             | ヒーリー              | D      | I   | C      | II  |
| 9             | ピータース             | D      | I   | D      | II  |
| 10            | 前方かかえ込み2回宙返りひねり下り | E      | IV  | E      | IV  |
| 2025年版グループ価値点 |                   | I      | II  | III    | IV  |
| Dスコア          |                   | 0.5    | 0.5 | 0.5    | 0.5 |
|               |                   | 6.6    |     | 5.7    |     |

※2 種目別決勝では大過失があったため予選の演技を採用

続技としてD難度として認定される一連の流れとして実施することになると予想される。

終末技は8選手とも前方かかえ込み2回宙返り（ひねり）下りのE難度である。新ルールで高難度の終末技を実施することはDスコアを高めるのに有効であることから、今後“かかえ込み”を“屈身”にすることや、1回ひねりを加える、もしくは棒端での2回宙返り2回ひねりなども増えてくるのかもしれない。ただし、今まで通りの技を実施して安定した着地によるスティックボーナスを得るのも方策の一つであろう。

多様な演技構成が増えることを望むひとつとして、懸垂振動技を得意とする選手による棒端での終末技を期待したいところである。

## 2.6 鉄棒

8演技のうち、鉄棒特有の特別な繰り返しの制限の抵触は4演技で見られ、うち3演技は組み合わせ加点に関わる実施であった（表25）。2025年版ルールでも、組合せ加点を獲得することは、Dスコアを高める方策として有効な手段であるが、繰り返し制限のなか、2種類の手放し技やグループⅠまたはⅢとの多様な組み合わせを取り入れることが求められる。

新ルールでDスコアを算出した場合、4名が5.9となった。この演技をもとに、より難度の高い技との入れ替えや組み合わせの工夫、終末技での高難度の技に取り組むことができれば、6点台に乗せることは充分期待ができる。

なお、2023年世界選手権で鉄棒金メダルを獲得した橋本大輝選手はパリオリンピックでの種目別決勝に進出できなかったが、予選の演技を2025年版で算出すると6.1となる（表24）。この演技を土台にいくつかの技を高難度技に入れ替えることが可能であれば、さらにDスコアを伸ばすことが可能である。

仮にアドラー1回ひねり倒立を両逆手にし、ツォ・リミンをリバルコにした場合、0.2の上乗せが可能である。今後、どのような演技構成にするのか注視していきたい。

8名のうち、グループⅠでD難度の技を実施した選手は3名であり、総て順手背面車輪である。他は、ツォ・リミンもしくは後方とび車輪1回ひねり（以下クースト）のC難度であった。順手背面車輪を取り入れるためには「後方浮腰回転後ろ振り出し順手背面懸垂」から持ち込みをしなければいけなく、演技構成上、負担がかかる。他のD難度には後方とび車輪3/2ひねり大逆手（以下リバルコ）が存在するが、対象とした8演技の中にはみられない。その理由のひとつとして終末局面での倒立位からの逸脱で生じる角度減点において0.3を科せられる可能性が高いことが考えられる。これが2025年版ルールでは緩和されたことにより、減点を抑えることが可能となる。リバルコを得意とする選手は、取り入れることもスコア向上の方策の一つとして検討することが可能である。

手放し技では、伸身で1回ひねりを加える技を含め、14の技で難度の格上げがされている。これらの技への取り組みは世界中で見られると予想される。ただし、空中での姿勢や高さ、再びバーを握る際の肘まがりなど、多数の減点が生じないようにしなければ、高めたスコアを減点で相殺してしまうことになりかねないので、安定した実施を期待したい。

組合せ加点では、手放し技の連続だけでなく、グループⅠもしくはⅢとの組み合わせによる実施も可能となるため、3箇所以上で加点対象とする実施も可能であろう。

表 24 橋本大輝選手 鉄棒演技構成

| No.           | 技名                  | 2022年版 |     |      | 2025年版  |        |      |
|---------------|---------------------|--------|-----|------|---------|--------|------|
|               |                     | 難度     | Grp | Con. | 難度      | Grp    | Con. |
| 1             | アドラーひねり倒立           | D      | Ⅲ   |      | D       | Ⅲ      |      |
| 2             | 伸身トカチェフ1回ひねり（リュウキン） | F      | Ⅱ   | 0.2  | G       | Ⅱ      | 0.2  |
| 3             | カッシーナ               | G      | Ⅱ   |      | G       | Ⅱ      |      |
| 4             | コールマン               | E      | Ⅱ   |      | E       | Ⅱ      |      |
| 5             | 伸身トカチェフ             | D      | Ⅱ   |      | D       | Ⅱ      |      |
| 6             | トカチェフ               | C      | Ⅱ   | 0.2  | 同系技制限抵触 |        |      |
| 7             | アドラー1回ひねり倒立         | D      | Ⅲ   |      | D       | Ⅲ      |      |
| 8             | エンドー                | B      | Ⅲ   |      | B       | Ⅲ      |      |
| 9             | 後方とび車輪1回ひねり（クースト）   | C      | I   |      | C       | I      |      |
| 10            | 後方伸身2回宙返り2回ひねり下り    | E      | Ⅳ   |      | E       | Ⅳ      |      |
| 2025年版グループ価値点 |                     | I      | Ⅱ   | Ⅲ    | Ⅳ       | Con. 計 |      |
|               |                     | 0.5    | 0.5 | 0.5  | 0.5     | 0.0    |      |
| Dスコア          |                     | 6.6    |     |      | 6.1     |        |      |

表25 バリオリンピック種目別決勝 鉄棒演技構成

## 1位.岡 慎之助(JPN)

| No.           | 技名                 | 2022年版 |     |      | 2025年版 |        |      |
|---------------|--------------------|--------|-----|------|--------|--------|------|
|               |                    | 難度     | Grp | Con. | 難度     | Grp    | Con. |
| 1             | アドラー1回ひねり逆手倒立      | E      | Ⅲ   |      | E      | Ⅲ      |      |
| 2             | アドラーひねり倒立          | D      | Ⅲ   |      | D      | Ⅲ      |      |
| 3             | コールマン              | E      | Ⅱ   |      | E      | Ⅱ      |      |
| 4             | 伸身トカチェフ            | D      | Ⅱ   |      | D      | Ⅱ      |      |
| 5             | トカチェフ              | C      | Ⅱ   |      | C      | Ⅱ      |      |
| 6             | 後方浮腰回転後ろ振り出し順手背面懸垂 | C      | Ⅲ   |      | C      | Ⅲ      |      |
| 7             | 順手背面車輪             | D      | I   |      | D      | I      |      |
| 8             | クステ                | C      | Ⅲ   |      | C      | Ⅲ      |      |
| 9             | 閉脚シュタルダー           | C      | Ⅲ   |      | C      | Ⅲ      |      |
| 10            | 後方伸身2回宙返り2回ひねり下り   | E      | Ⅳ   |      | E      | Ⅳ      |      |
| 2025年版グループ価値点 |                    | I      | Ⅱ   | Ⅲ    | Ⅳ      | Con. 計 |      |
|               |                    | 0.5    | 0.5 | 0.5  | 0.5    | 0.0    |      |
| Dスコア          |                    | 5.9    |     |      | 5.3    |        |      |

## 2位.BARAJAS Angel(COL)

| No.           | 技名               | 2022年版 |     |      | 2025年版  |        |      |
|---------------|------------------|--------|-----|------|---------|--------|------|
|               |                  | 難度     | Grp | Con. | 難度      | Grp    | Con. |
| 1             | 後ろ振り上がり倒立        | A      | I   |      | A       | I      |      |
| 2             | アドラー1回ひねり逆手倒立    | E      | III |      | E       | III    |      |
| 3             | アドラーひねり倒立        | D      | III |      | D       | III    |      |
| 4             | 伸身ピアッティ          | E      | II  | 0.2  | E       | II     | 0.2  |
| 5             | カッシーナ            | G      | II  |      | G       | II     |      |
| 6             | コバチ              | D      | II  |      | 同系技制限抵触 |        |      |
| 7             | コールマン            | E      | II  | 0.2  | E       | II     |      |
| 8             | 後方とび車輪 1 回ひねり    | C      | I   |      | C       | I      |      |
| 9             | 閉脚シュタルダー         | C      | III |      | C       | III    |      |
| 10            | 後方伸身2回宙返り2回ひねり下り | E      | IV  |      | E       | IV     |      |
| 2025年版グループ価値点 |                  | I      | II  | III  | IV      | Con, 計 |      |
|               |                  | 0.5    | 0.5 | 0.5  | 0.5     | 0.2    |      |
| Dスコア          |                  | 6.6    |     |      | 5.9     |        |      |

## 3位.ZHANG Boheng (CHN)

| No.           | 技名                 | 2022年版 |     |      | 2025年版 |        |      |
|---------------|--------------------|--------|-----|------|--------|--------|------|
|               |                    | 難度     | Grp | Con. | 難度     | Grp    | Con. |
| 1             | アドラー1回ひねり逆手倒立      | E      | Ⅲ   |      | E      | Ⅲ      |      |
| 2             | アドラーひねり倒立          | D      | Ⅲ   |      | D      | Ⅲ      |      |
| 3             | コールマン              | E      | Ⅱ   | 0.2  | E      | Ⅱ      | 0.2  |
| 4             | カッシーナ              | G      | Ⅱ   |      | G      | Ⅱ      |      |
| 5             | 伸身トカチェフ            | D      | Ⅱ   |      | D      | Ⅱ      |      |
| 6             | トカチェフ              | C      | Ⅱ   |      | C      | Ⅱ      |      |
| 7             | 後方浮腰回転後ろ振り出し順手背面懸垂 | C      | Ⅲ   |      | C      | Ⅲ      |      |
| 8             | 順手背面車輪             | D      | Ⅰ   |      | D      | Ⅰ      |      |
| 9             | クステ                | C      | Ⅲ   |      | C      | Ⅲ      |      |
| 10            | 後方伸身2回宙返り1回ひねり下り   | E      | Ⅳ   |      | E      | Ⅳ      |      |
| 2025年版グループ価値点 |                    | Ⅰ      | Ⅱ   | Ⅲ    | Ⅳ      | Con. 計 |      |
|               |                    | 0.5    | 0.5 | 0.5  | 0.5    | 0.2    |      |
| Dスコア          |                    | 6.5    |     |      |        | 5.9    |      |

## 4位. TANG Chia-Hung (TPE)

| No.           |                    | 技名 |     | 2022年版 |     |         | 2025年版 |     |  |
|---------------|--------------------|----|-----|--------|-----|---------|--------|-----|--|
|               |                    | 難度 | Grp | Con.   | 難度  | Grp     | Con.   |     |  |
| 1             | アドラーひねり倒立          |    | D   | Ⅲ      |     | D       | Ⅲ      |     |  |
| 2             | 伸身トカチェフ            |    | D   | Ⅱ      |     | D       | Ⅱ      | 0.1 |  |
| 3             | トカチェフ              |    | C   | Ⅱ      |     | C       | Ⅱ      | 0.1 |  |
| 4             | 屈身トカチェフ            |    | C   | Ⅱ      |     | 同系技制限抵触 |        |     |  |
| 5             | カッシーナ              |    | G   | Ⅱ      |     | G       | Ⅱ      |     |  |
| 6             | アドラー1回ひねり片逆手倒立     |    | D   | Ⅲ      |     | D       | Ⅲ      |     |  |
| 7             | ヤマワキ1回ひねり(ウェルストロム) |    | F   | Ⅱ      |     | G       | Ⅱ      | 0.2 |  |
| 8             | エンドー               |    | B   | Ⅲ      |     | B       | Ⅲ      |     |  |
| 9             | ゾ・リミン              |    | C   | I      |     | C       | I      |     |  |
| 10            | 後方伸身2回宙返り1回ひねり下り   |    | D   | Ⅳ      |     | D       | Ⅳ      |     |  |
| 2025年版グループ価値点 |                    |    | I   | Ⅱ      | Ⅲ   | Ⅳ       | Con, 計 |     |  |
|               |                    |    | 0.5 | 0.5    | 0.5 | 0.4     | 0.4    |     |  |
| Dスコア          |                    |    | 6.5 |        |     | 5.9     |        |     |  |

## 5位.SU Weide(CHN)

| No.           | 技名                 | 2022年版 |     |      | 2025年版 |        |      |
|---------------|--------------------|--------|-----|------|--------|--------|------|
|               |                    | 難度     | Grp | Con. | 難度     | Grp    | Con. |
| 1             | アドラー1回ひねり逆手倒立      | E      | Ⅲ   |      | E      | Ⅲ      |      |
| 2             | アドラーひねり倒立          | D      | Ⅲ   |      | D      | Ⅲ      |      |
| 3             | リュウキン              | F      | Ⅱ   |      | G      | Ⅱ      |      |
| 4             | 伸身トカチェフ            | D      | Ⅱ   |      | D      | Ⅱ      |      |
| 5             | コールマン              | E      | Ⅱ   |      | E      | Ⅱ      |      |
| 6             | 後方浮腰回転後ろ振り出し順手背面懸垂 | C      | Ⅲ   |      | C      | Ⅲ      |      |
| 7             | 順手背面車輪             | D      | I   |      | D      | I      |      |
| 8             | シュタイネマン            | B      | Ⅲ   |      | B      | Ⅲ      |      |
| 9             | シュタルダー             | B      | Ⅲ   |      | B      | Ⅲ      |      |
| 10            | 後方伸身2回宙返り2回ひねり下り   | E      | Ⅳ   |      | E      | Ⅳ      |      |
| 2025年版グループ価値点 |                    | I      | Ⅱ   | Ⅲ    | Ⅳ      | Con. 計 |      |
|               |                    | 0.5    | 0.5 | 0.5  | 0.5    | 0.0    |      |
| Dスコア          |                    | 6.0    |     |      | 5.7    |        |      |

## 6位.GEORGIOU Marios(CYP)

| No.           |  | 技名               | 2022年版 |     |      | 2025年版 |        |      |
|---------------|--|------------------|--------|-----|------|--------|--------|------|
|               |  |                  | 難度     | Grp | Con. | 難度     | Grp    | Con. |
| 1             |  | 閉脚エンドー           | C      | Ⅲ   |      | C      | Ⅲ      |      |
| 2             |  | アドラー1回ひねり逆手倒立    | E      | Ⅲ   |      | E      | Ⅲ      |      |
| 3             |  | アドラーひねり倒立        | D      | Ⅲ   |      | D      | Ⅲ      |      |
| 4             |  | カッシーナ            | G      | Ⅱ   |      | G      | Ⅱ      |      |
| 5             |  | コールマン            | E      | Ⅱ   |      | E      | Ⅱ      |      |
| 6             |  | 閉脚シュタルダー         | C      | Ⅲ   |      | C      | Ⅲ      |      |
| 7             |  | シュタルダー           | B      | Ⅲ   |      | B      | Ⅲ      |      |
| 8             |  | 後方とび車輪1回ひねり      | C      | I   |      | C      | I      |      |
| 9             |  | ゾオ・リミン           | C      | I   |      | C      | I      |      |
| 10            |  | 後方伸身2回宙返り1回ひねり下り | D      | Ⅳ   |      | D      | Ⅳ      |      |
| 2025年版グループ価値点 |  |                  | I      | Ⅱ   | Ⅲ    | Ⅳ      | Con. 計 |      |
|               |  |                  | 0.5    | 0.5 | 0.5  | 0.4    | 0.0    |      |
| Dスコア          |  |                  | 5.9    |     |      |        | 5.3    |      |

## 7位.杉野正亮 (JPN) ※1

| No.           |  | 技名               | 2022年版 |     |      | 2025年版  |       |      |
|---------------|--|------------------|--------|-----|------|---------|-------|------|
|               |  |                  | 難度     | Grp | Con. | 難度      | Grp   | Con. |
| 1             |  | ベガン              | F      | Ⅱ   |      | G       | Ⅱ     |      |
| 2             |  | カッシーナ            | G      | Ⅱ   |      | G       | Ⅱ     |      |
| 3             |  | コバチ              | D      | Ⅱ   |      | 同系技制限抵触 |       |      |
| 4             |  | コールマン            | E      | Ⅱ   | 0.2  | E       | Ⅱ     |      |
| 5             |  | ゾオ・リミン           | C      | Ⅰ   |      | C       | Ⅰ     |      |
| 6             |  | アドラー1回ひねり逆手倒立    | E      | Ⅲ   |      | E       | Ⅲ     |      |
| 7             |  | ヤマワキ             | C      | Ⅱ   |      | C       | Ⅱ     |      |
| 8             |  | エンドー             | B      | Ⅲ   |      | B       | Ⅲ     |      |
| 9             |  | アドラーひねり倒立        | D      | Ⅲ   |      | D       | Ⅲ     |      |
| 10            |  | 後方伸身2回宙返り2回ひねり下り | E      | Ⅳ   |      | E       | Ⅳ     |      |
| 2025年版グループ価値点 |  |                  | Ⅰ      | Ⅱ   | Ⅲ    | Ⅳ       | Con.計 |      |
|               |  |                  | 0.5    | 0.5 | 0.5  | 0.5     | 0.0   |      |
| Dスコア          |  |                  | 6.6    |     |      |         | 5.9   |      |

※1 種目別決勝では大過失があったため予選の演技を採用

## 8位.SRBIC Tin(CRO) ※2

| No.           | 技名                | 2022年版 |     |      | 2025年版  |        |      |
|---------------|-------------------|--------|-----|------|---------|--------|------|
|               |                   | 難度     | Grp | Con. | 難度      | Grp    | Con. |
| 1             | 前方車輪1回ひねり大逆手      | C      | I   |      | C       | I      |      |
| 2             | アドラーひねり倒立         | D      | III |      | D       | III    |      |
| 3             | 伸身ピアッティ           | E      | II  | 0.2  | E       | II     | 0.2  |
| 4             | ピアッティ             | D      | II  |      | D       | II     |      |
| 5             | 伸身トカチェフ           | D      | II  | 0.2  | 同系技制限抵触 |        |      |
| 6             | コールマン             | E      | II  |      | E       | II     |      |
| 7             | 後方とび車輪1回ひねり（クースト） | C      | I   |      | C       | I      |      |
| 8             | アドラー1回ひねり逆手倒立     | E      | III |      | E       | III    |      |
| 9             | シュタルダー            | B      | III |      | B       | III    |      |
| 10            | 後方伸身2回宙返り1回ひねり下り  | D      | IV  |      | D       | IV     |      |
| 2025年版グループ価値点 |                   | I      | II  | III  | IV      | Con. 計 |      |
|               |                   | 0.5    | 0.5 | 0.5  | 0.4     | 0.2    |      |
| Dスコア          |                   | 6.3    |     |      | 5.4     |        |      |

※2 種目別決勝では大過失があったため予選の演技を採用

要求技数が減った分、また、終末技の難度がDスコアに今まで以上に影響することから、鉄棒でも高難度技への取り組みが予想される。多くの選手が実施している後方伸身2回宙返り2回ひねり（E難度）を3回ひねりに高める、または後方3回宙返りが見られることを所望したい。

### 3. まとめ

オリンピックパリ大会種目別決勝進出者の演技を2022年版採点規則に則りDスコアを算出し、そこから2025年版採点規則でのDスコアを高める方策、特徴などを推測した。

今回、対象とした各種目の演技にて採用された技を観察すると、多くの選手でおよそ同じ技を選択していることが窺える。これらから2技を省いて演技構成を構築するとすると、よりモノトニー化に拍車がかかることが予想される。これは跳馬を除く5種目で設定されている種目特有の規則、制限などが助長しているとも考えられる。特有の規則が存在することにより、同じ系統の技だけに偏ることなく、様々な種類の技を選択することになるが、これが結果的にモノトニー化を推し進めてしまう要因である。体操競技の未来を考えた上では、種目特有の規制を抑制し、選手が好む技で構成する演技が良いのか、同系列の技に使用制限を設け、多種多様な系統の技を実施させることが良いのか、今後の検討すべき課題である。

種目ごとでは、ゆかの演技は、今まで多用されていたひねり系の技がグループⅣにまとめられた。これにより、2回宙返り系の技が増えることになり、ダイナミックな演技が期待できる可能性がある。選手にとっては今まで以上に脚力が必要となり負担が増えるが、観客からは魅力が増すことになるであろう。

片足平均立ちは現行の選手が長年実施してこなかった技であるため、洗練された捌きを表現できるか見ものである。上位レベルの選手にとって難度向上に直接関与することはないものの、見栄えのする片足平均立ちは演技全体の質を高めることができる。疎かにせず、丁寧な実施を期待したい。

あん馬では、種目特有の制限が8項目もあるため、上位になるほど、多くの演技が同じ構成になるであろう。2025年版でのDスコアは6.0が一つの目標数値となるが、これをどのように超えた演技構成を構築するかが鍵である。

つり輪では、グループⅡとⅢの連続に関する制限があるため、演技の順番、出現する技が同じ傾向になることが予想される。種目別決勝進出、メダル獲得を目指す選手にとっては、難度価値が高い十字倒立に収める技を取り入れ、如何に正確に減点なく実施できるかが、他者より高いDスコアを得られ、得点を伸ばすことにつながる。また、終末技での高い難度価値の技として、後方3回宙返り下りの実施が増えることが期待される。

跳馬では0.4の価値点の低下に伴い、主要選手が実施している跳越技は5.2となった。今までは他の種目よりも得点が高く得られる種目であったが、他の種目によってはDスコアが6点台前後と予想される中、Eスコアも実施する技数が減った分、減点が少なくなる可能性が高いことから、跳馬との得点のバランスがどのように影響するか、注視していく必要がある。

平行棒では大幅な変更はみられなかったが、“2回宙返りから腕支持になる技”の難度が高まったことにより、効果的に組み入れることがDスコアを高める方策の一つである。

他方、Eスコアの領域ではあるが、スイング倒立後の振り戻しが0.3の減点となったことから、これに抵触せずに演技を実行できる構成を検討する必要がある。

鉄棒では、手放し技の多くで難度の格上げが見られた。その中でも難度価値の高い技を取り組

むこと、手放し技の有効な組み合わせを演技に取り入れることが鍵となってくる。あわせて、終末技での高難度技の実施により、Dスコアを高めることが期待される。

鉄棒でのDスコアは6.0が一つの目標数値となり、メダル獲得を目指す場合には6.5を超えるスコアが目標数値になると予想される。

今回の改定では、種目として大幅な演技の見直しを全ての選手に求めることはないが、ゆかでひねり系の技、あん馬で開脚旋回を多用している選手は演技構成を大きく見直す必要が生じることとなった。

今回のルール改定によりまずはFIGが求める選手の負担軽減、ケガの発生の抑制が叶うことを切望する。これは継続的に調査していく必要があり、仮に逆行するのであれば、ルールの見直しや制限などを検討する必要がある。これを前提の上、高難度の技や驚異的な連続技など、新たな取り組みを期待したい。併せて、華やかに且つ美しく魅了される演技が実施されることを望みたい。

要求技数数が8技になったことにより、副次的な影響であるが女子との得点の差が縮まることが予想される。これにより、体操競技に詳しくない方にとって今までの男女の得点差から、“男子は難しいことを実施しているから得点が高い”、“女子の得点が低いのは難しい技をしていないからだ”という不本意な解釈が取り除かれることを期待したいところである。

本稿で明らかになった演技構成上の指標はもとより、今後新たに条項が追加される可能性もあるため、演技構成の作成には柔軟な対応が求められる。

今後も2025年版採点規則の動向に注視し、その分析結果を蓄積することにより、新規則の姿を明らかにするとともに、その方向性を見極め、対応策を立案、および構築した演技の完成度を高めることに貢献したい。

## 参考・引用文献

- 1) MAG Code of Points 2025-2028 FÉDÉRATION INTERNATIONALE DE GYMNASTIQUE 2024年7月  
[https://www.gymnastics.sport/publicdir/rules/files/en\\_1.1%20-%20MAG%20CoP%202025-2028.pdf](https://www.gymnastics.sport/publicdir/rules/files/en_1.1%20-%20MAG%20CoP%202025-2028.pdf)
- 2) 日本体操協会（2017）採点規則男子2017年版，日本体操協会 2017年2月
- 3) 日本体操協会（2022）採点規則男子2022年版，日本体操協会 2022年3月
- 4) 日本体操協会（2025）採点規則男子2025年版，日本体操協会 2025年2月
- 5) （公財）日本体操協会 体操競技男子2025年版採点規則情報（Ver. 1.0）2024年11月
- 6) 2024年度体操競技男子1種公認審判員研修会（伝達研修会）資料 2024年12月
- 7) NEWSLETTER – 15th Cycle N° 04 2024年8月
- 8) 男子体操競技におけるオリンピック規定演技廃止に関する意識調査 水島宏一（東京学芸大学紀要第5部門 1995年6月
- 9) 体操競技における男子採点規則の変遷と改訂の背景 岡崎秀人（稚内北星学園大学情報メディア学部）他 2007年1月
- 10) 体操競技男子 2022-2024年版採点規則の概要と演技構成上の指標——Dスコアの得点算出に関与する変更点に着目して—— 高橋孝徳（東京国際大学論叢）2022年3月
- 11) 採点規則の改訂に伴う床運動の演技構成に関する一考察 加納 実・伊藤政男 順天堂大学スポーツ健康科学研究 第3号 26-41 1999年